

第8回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会

日時：平成27年11月26日（木）10:30～12:00

場所：揖斐川町役場 3F 防災対策室

議 事 次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 委員の変更について

(2) 第7回推進協議会の議事概要について

(3) 平成26年度の活動報告および平成27年度の活動予定(状況)
について

(4) その他

質疑、意見交換

4 閉 会

第8回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 資料一覧

資料1 第7回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 議事要旨

資料2 揖斐川水源地域ビジョン施策について

資料3 揖斐川町 活動報告

資料4 生命の水と森の活動センター協議会 活動報告

資料5 徳山ダム管理所 活動報告

資料6 木曾川上流河川事務所 横山ダム管理支所 活動報告

資料7 中部森林管理局 岐阜森林管理署 活動報告

資料8 岐阜県揖斐農林事務所 活動報告

資料9 中部電力株式会社 活動報告

資料10 名古屋市上下水道局 活動報告

資料11 大垣商工会議所 活動報告

資料12 西美濃広域観光推進協議会 活動報告

資料13 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 規約

別途資料

- ・第8回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 出席者名簿
- ・第8回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 配席図

第7回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 議事要旨

日 時：平成 26 年 8 月 19 日（火）10 時 00 分～12 時 00 分

場 所：揖斐川町役場 3F 防災対策室

1. 開会

2. 挨拶（揖斐川町長）

3. 報告及びその審議結果等

（1）平成 25 年度の活動報告について

- ①生命（いのち）の水と森の活動センターの活動実績として、①水源地の自然環境保全事業、②自然環境保全教育・研修事業、③治水・利水及び水源地の環境保全の重要性普及啓発事業、④自然を活用した水源地域の活性化事業、⑤情報収集・発信事業を柱とする諸活動が実施されたこと、これらにより H25 年度の「水と森の学習館」利用者が 19,663 名に達したについて事務局から報告があった。
- ②徳山ダムの活動実績として、徳山湖の水質監視・実のなる木を植えよう大作戦などの活動が実施されたことについて、事務局（水資源機構徳山ダム管理所）から報告があった。
- ③揖斐郡森林組合から「木曾三川水源保全体験」、「イビデンの森の木の保育のための下刈作業」や「コア山での植栽」について関係機関と協力し実施していることについて報告された。
- ④木曾川上流河川事務所横山ダム管理支所から通年実施しているダム見学会等について報告された。
- ⑤揖斐農林事務所から「ぎふ田んぼの学校」の実施状況として、揖斐川町及び大野町の小学校において生き物調査や環境学習を実施したことについて報告された。
- ⑥名古屋市上下水道局から「木曾三川水源林保全体験」の実施状況として、平成 25 年 8 月 22 日に名古屋市上水道給水区域の小学生とその保護者 18 組 36 名が参加し、間伐作業体験や徳山ダム見学が実施されたことについて報告された。
- ⑦西濃広域観光推進協議会から水源地域の魅力を活用した産業の振興を図るため、西濃地域が持つ豊かな自然と多くの優れた観光資源の PR 活動を実施したことについて報告された。
- ⑧大垣商工会議所から地域資源の活用による、交流産業の創出・育成を目指し、「西美濃の街道まち歩きスタンプラリー」を実施したことについて報告された。
- ⑨中部電力(株)から揖斐川町内の小学生とその保護者による「ダム探検と水力発電」の見学会や水難事故防止 PR 活動等を実施したことについて報告された。
- ⑩中部森林管理局から揖斐川森林計画の概要について報告された。

(2) 平成 26 年度の活動予定について

- ①生命（いのち）の水と森の活動センターの事業計画が事務局から説明された。
- ②徳山ダムのビジョン取組について事務局から説明された。
- ③揖斐郡森林組合から平成 26 年度も平成 26 年度と同様に関係機関と協力し活動していくことを説明された。
- ④木曾川上流河川事務所横山ダム管理支所から「横山ダム 50 周年」にあたることから横山ダム 50 周年に関する事業等の内容説明及び森と湖に親しむ旬間におけるダム見学について説明された。
- ⑤岐阜県揖斐農林事務所から「ぎふ田んぼの学校」や「緑と水の子ども会議」の地元小中学生の環境に関する学習会、「コア山でのカラマツの試験植栽」の実施について説明された。
- ⑥名古屋市上下水道局から平成 26 年度も継続して「木曾三川水源林保全体験」の実施していくことを説明された。
- ⑦西濃広域観光推進協議会から水源地域の魅力を活用した産業の振興を図るための PR 活動の実施と台湾観光 PR 事業を開催について説明された。
- ⑧大垣商工会議所から「全国水都ネットワークフォーラム in 大垣」が開催されることについて説明された。
- ⑨中部電力(株)から平成 26 年度も継続して揖斐川町内の小学生とその保護者による「ダム探検と水力発電」の見学会や水難事故防止 PR 活動等を実施していくことについて説明された。

(3) その他

- ①関係機関の実施するビジョン活動の予定に関する情報提供の依頼が事務局よりなされた。
- ②中部電力(株)から徳山水力発電所の工事進捗状況について、2 号機 H26 年 5 月運転開始、1 号機 H27 年 6 月運転開始予定であるとの説明があった。
- ③木曾川上流河川事務所長より H26 年 8 月 9 日～11 日の台風 11 号出水における徳山ダム・横山ダムの連携にり揖斐川万石地点（大垣市）で約 2 m の水位低下の効果があったとの説明があった。
- ④岐阜県より、木曾川三川基金の事業支援について説明があった。

4. 閉会

以上

揖斐川水源地域ビジョンについて

揖斐川水源地域の将来像(目標像)	
	日本のどまん中を支える日本一の水と森が織りなす流域文化の創造 － みんなで守り、学び、やすらぐ、日本一元気な流域を目指して －
目標像を実現するための3つの基本方針	
	(1) 揖斐の防人・中部の水瓶としての上流域の環境を、みんなで守り育てる (2) 自然の叡智や風土など水源地域そのものを「水と森の自然博物館」として、学び、やすらぐ (3) 流域ぐるみで協働し、流域文化の創造と展開を図る
基本方針を踏まえた5つの取組方針と主な方向	
施 策	(1) 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全
施策項目	①水環境の保全 ②ダム機能保全のための森林の保全整備 ③自然生態系の保全 ④環境調査
施 策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供 ⑥研修の場の提供 ⑦健康づくりと安らぎの場の提供
施 策	(3) 広域で継続的な交流・連携の推進
施策項目	⑧活動を通じた上下流交流 ⑨教育交流の推進 ⑩県境を越えた広域連携
施 策	(4) 水源地域の魅力を活用した産業の振興
施策項目	⑪観光振興 ⑫新たな産業の振興
施 策	(5) みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進
施策項目	⑬情報発信 ⑭人材育成 ⑮啓発活動の推進 ⑯危機管理 ⑰交流の場づくり

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(4)水源地域の魅力を活用した産業の振興
施策項目	①観光振興
具体の施策	徳山ダム観光放流 水陸両用バスの運行
団体名等	揖斐川町
実施時期	徳山ダム観光放流 5月1日～5日 11月1日～6日 水陸両用バス 11月1・3・4・5・6日
内 容	<p>水源地域の魅力を広くPRするとともに、下流域からの集客を図るため「徳山ダム観光放流」「水陸両用バスの運行」を行った。</p> <p>観光放流期間中の来場者 4,168人</p> <p>水陸両用バス乗船者 694人</p>
写 真	   

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(1)日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全
施策項目	③自然生態系の保全
具体の施策	徳山湖自然環境観察会
団体名等	揖斐川町
実施時期	5月から11月まで 第2・第4土曜日 14回
内 容	<p>水資源機構の船舶「とくまる」で徳山湖を周遊し、周辺の美しい自然環境を観察するとともに、水源地域の環境保全の重要性を啓蒙する「徳山湖自然環境観察会」を実施。下流域からの集客を図るため、旅行会社のツアーを利用し、観光振興にも寄与させる。</p> <p>1日3便 ①11:00 ②13:00 ③14:30 各約1時間 乗船料金 大人1300円 小中学生700円</p> <p>11月14日までの乗船者 1,714人 (1日約130人)</p>
写 真	

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2) 日本一の水と緑に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供
具体の施策	徳山自然体験事業の実施
団体名等	揖斐川町、独立行政法人水資源機構 徳山ダム管理所
実施時期	平成27年7月29日、8月7日、8月24日、11月10日、11月13日(計5回)
内 容	<p>揖斐川下流域(主として名古屋を中心とする中京圏)在住者を対象に、揖斐川の水源地域である徳山ダム上流域の自然環境保全の重要性と、徳山ダムが持つ治水・利水の役割をそれぞれ周知することを目的に、徳山ダムの非水没地帯である門入地区に残るブナ自然林の見学と、徳山ダム堤体内の見学をそれぞれ実施した。</p> <p>また、今後、事業を継続して実施していく取組みとして、11月の事業では、戸入船着場から門入地区までの往復約16kmをウォーキングする(ブナ林見学を含む)内容とし、非水没地帯に残る豊かな自然と紅葉を満喫いただいた。</p> <p>参加人数126名 (5日間合計)</p>
写 真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>徳山ダム堤体内見学(7月・8月)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>現地ガイドによる門入ブナ自然林の解説(7月・8月)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>戸入船着場～門入地内間、紅葉ウォーキングの実施(11月)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>現地ガイドによる門入ブナ自然林の解説(11月)</p> </div> </div>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(4)水源地域の魅力を活用した産業の振興	
施策項目	①観光振興	
具体の施策	徳山ダム観光放流 水陸両用バスの運行	
団体名等	揖斐川町	
実施時期	徳山ダム観光放流 水陸両用バス	5月1日～5日 10月31日～11月3日 8月4～6日
内 容	<p>水源地域の魅力を広くPRするとともに、下流域からの集客を図るため「徳山ダム観光放流」「水陸両用バスの運行」を行う。</p> <p>観光放流期間中の来場者 4,563人</p> <p>水陸両用バス乗船者 593人</p>	
写 真	   	

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(1)日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全
施策項目	①水環境の保全
具体の施策	生命の水を育む源流域の水環境を保全するための清掃活動等の実施
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会 揖斐川町 揖斐自然環境レンジャー その他関係諸団体および一般個人
実施時期	平成26年4月～12月
内 容	<p>水源地域の環境保全を目的に、町、NPO団体、その他の関係諸団体や地域住民と協働して、揖斐川上流域の清掃活動、および環境パトロール活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 揖斐川上流水源地域クリーン作戦(9/20 38名参加) ・ 冠山登山道クリーン作戦(9/27 25名参加) ・ 夜叉ヶ池登山道クリーン作戦(10/18 28名参加) ・ 徳山ダム上流域の環境パトロール、公衆トイレの清掃活動(4月～12月 72回実施)、および湖上巡視活動(9月～11月 4回実施)
写 真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(1)日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全
施策項目	③自然生態系の保全
具体の施策	豊かな野生生物を育む自然環境の保全に向けた植樹活動の実施
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会 揖斐川町 揖斐自然環境レンジャー その他関係諸団体および一般個人
実施時期	平成26年4月～11月
内 容	<p>徳山ダム上流域の荒廃林、工事跡地(コア山)を中心に、郷土産のブナ、トチ、ミズナラ、クルミ等の野生生物の餌となる木(実のなる木)の植栽、保育を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コア山下草刈りおよび獣害防止カバーの設置(6/20、29 46名参加) ・ 北和中学校生徒による苗木のホームステイ活動と植樹活動 (4/16、10/10 52名参加) ・ 坂内県有林に実のなる木を植えよう大作戦(10/26 24名参加) ・ 第14回徳山ダム上流に実のなる木を植えよう大作戦(11/3 74名参加) ・ 北方小学校児童による苗木のホームステイ活動と植樹活動 (4/24、11/5 44名参加)
写 真	   

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2)日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供
具体の施策	徳山湖周辺の優れた自然環境を活用した様々な体験活動の実施
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会 揖斐川町 揖斐自然環境レンジャー その他関係諸団体および一般個人
実施時期	平成26年8月15日、11月29日、1月17日～2月8日
内 容	<p>季節ごとに大きく変化する自然環境や様々な自然素材を活用しながら、小中学校児童生徒や地域内外の多くの方々に水源地域の重要性や環境保全の学んでもらう各種体験活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子サマーキャンプと木エクラフト体験(8/15 26名参加) ・巨樹巡り(揖斐川町の田舎暮らし体験と共催 11/29 10名参加) ・雪とのふれあい体験(1/17、25、31、2/8 43名参加)
写 真	   

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2)日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑥研修の場の提供
具体の施策	児童生徒等の各種研修活動への支援と体験活動の実施
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会 揖斐川町 揖斐自然環境レンジャー その他関係諸団体および一般個人
実施時期	平成26年4月16日～2月22日
内 容	<p>「ふじはし星の家」に宿泊する小中学校児童生徒および地域内外の各種団体等が実施する各種研修活動の支援や、自然環境や自然素材を活用した様々な体験活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校児童生徒やスポーツ少年団等の各種団体が実施する研修活動の支援 ・オリエンテーリングや登山、川遊びや天体観測等の自然環境や施設を活用した体験活動 ・丸太切りや木の実クラフトづくり等の自然素材を活用した体験活動 (年間55回 2,040名) ・杉原山登山道の整備(登山者5月～11月 10団体399名) ・体験学習のためのテキスト等整備 小中学生等の教育交流や揖斐川上流水源地域の自然を学習する「鳥類・両生類・は虫類・魚類編」の作成
写 真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(3)広域で継続的な交流・連携の推進
施策項目	⑧活動を通じた上下流交流
具体の施策	揖斐川上下流の小中学校児童生徒や一般住民が互いに学び交流できる体験活動の実施
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会 揖斐川町 揖斐自然環境レンジャー その他関係諸団体および一般個人
実施時期	平成26年8月22日
内 容	<p>下流域関係市(名古屋市)の上下水道局が、木曾三川水源林保全体験として実施する森林間伐体験や徳山ダム見学を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐体験 東杉原地区にある「前の谷」左岸側の杉林で実施された間伐体験 (32名参加)
写 真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 250px; height: 150px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 250px; height: 150px;"></div> </div>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(5)みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進
施策項目	⑬情報発信
具体の施策	徳山ダムの機能をはじめ治水・利水の大切さ、さらには当センターの活動内容等を広く伝える情報発信
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会 揖斐川町 揖斐自然環境レンジャー その他関係諸団体および一般個人
実施時期	通年
内 容	<p>徳山ダムや水源地域のもつ機能や役割、さらには治水や利水の大切さを多くの方々に伝えていくとともに、活動センターの役割や活動内容についての情報を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徳山ダムや関連施設の総合案内(団体数125 案内人数3,681名) ・ 生命の水と森の活動センターおよび学習館のPR活動(5/12 揖斐高原花桃フェスタ参加、6/1 名古屋市水フェスタ参加、11/15 名古屋市エコ市参加)
写 真	 <p>The photograph section contains four images. The top-left image shows several people sitting around a table in an indoor setting, possibly a community center, engaged in an activity. The top-right image is an aerial view of a large outdoor festival or fair with many green and white striped tents. The bottom-left image shows a man in a blue jacket and a woman with a young child sitting at a table, looking at something on the table. The bottom-right image shows a group of people sitting at tables outdoors, engaged in an activity, possibly a workshop or demonstration.</p>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(5)みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進
施策項目	啓発活動の推進
具体の施策	豊かな自然環境の保全について学ぶ様々な研修や啓発活動を実施
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会 揖斐川町 揖斐自然環境レンジャー その他関係諸団体および一般個人
実施時期	通年
内 容	<p>多種多様の野生生物を育む豊かな自然環境、その仕組みや役割を理解しながらそれらを将来にわたって守り育てていくことの大切さを学ぶ機会を設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徳山ダム周辺の自然環境について学ぶ研修会 水資源機構徳山ダム管理事務所の高橋所長による徳山ダム周辺の山野草を主題にした講演を木のなる木を植えよう大作戦の植樹活動実施日に開催 (11/3 74名参加) ・ 小中学校児童生徒への啓発活動 学習館等での各種体験活動実施時に、利用する素材や体験内容に関わらせながら自然環境保全について学ぶ場を設定
写 真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(1)日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全	
施策項目	①水環境の保全	
具体の施策	生命の水を育む源流域の水環境を保全するための清掃活動等の実施	
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会 揖斐川町 揖斐自然環境レンジャー その他関係諸団体および一般個人	
実施時期	平成27年4月～12月	
内 容	<p>水源地域の環境保全を目的に、町、NPO団体、関係諸団体や地域住民と協働して、揖斐川上流域の清掃活動、および環境パトロール活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 揖斐川上流水源地域クリーン作戦(9/19 13名参加) ・ 冠山登山道クリーン作戦(10/3 20名参加) ・ 夜叉ヶ池登山道クリーン作戦(10/17 33名参加) ・ 徳山ダム上流域の環境パトロール、公衆トイレの清掃活動(10月現在 45回実施)、および湖上巡視活動(10月現在 7回実施) 	
写 真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>	

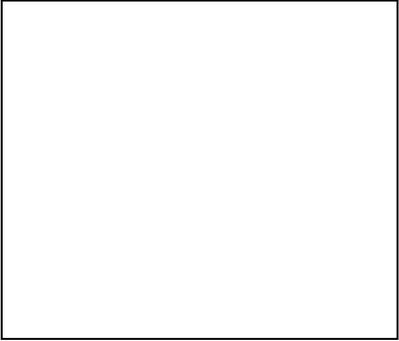
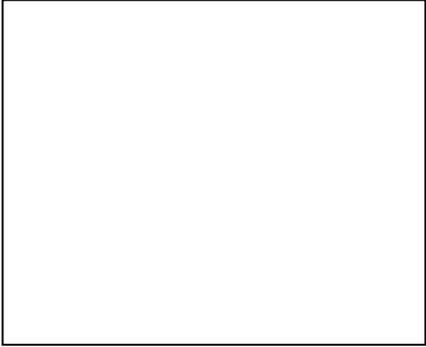
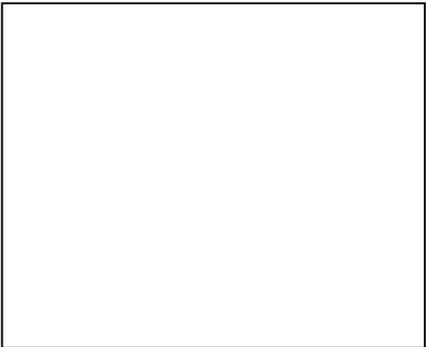
揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(1)日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全	
施策項目	③自然生態系の保全	
具体の施策	豊かな野生生物を育む自然環境の保全に向けた植樹活動の実施	
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会 揖斐川町 揖斐自然環境レンジャー その他関係諸団体および一般個人	
実施時期	平成27年4月～11月	
内 容	<p>徳山ダム上流域の荒廃林、工事跡地(コア山)を中心に、郷土産のブナ、トチ、ミズナラ、クルミ等の野生生物の餌となる木(実のなる木)の植栽、保育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コア山下草刈りおよび獣害防止カバーの設置(6/21、28、9/16、10/13 46名参加) ・ 北和中学校生徒による苗木のホームステイ活動と植樹活動(4/15、9/25 48名参加) ・ 坂内県有林に実のなる木を植えよう大作戦(10/20 17名参加) ・ 第14回徳山ダム上流に実のなる木を植えよう大作戦(11/3 63名参加) ・ 北方小学校児童による苗木のホームステイ活動と植樹活動(4/23、10/26 42名参加) 	
写 真	   	

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぎ場としての活用	
施策項目	⑤学習の場の提供	
具体の施策	徳山湖周辺の優れた自然環境を活用した様々な体験活動の実施	
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会 その他関係諸団体	
実施時期	平成27年8月14日～15日、11月28日～29日、12月12日～13日、1月～2月	
内 容	<p>季節ごとに大きく変化する自然環境や様々な自然素材を活用しながら、小中学校児童生徒や地域内外の多くの方々に水源地域の重要性や環境保全の学んでもらう各種体験活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親子サマーキャンプと木エクラフト体験(8/14、15 20名参加) ・ 火起こし体験とクリスマスリースづくり (揖斐川町の田舎暮らし体験と共催 11/28、29 9名参加予定) ・ 親子クリスマスキャンプとクラフト体験(12/12、13に予定) ・ 雪とのふれあい体験(1月～2月にかけて数回実施予定) 	
写 真		
		

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぎ場としての活用
施策項目	⑥ 研修の場の提供
具体の施策	宿泊施設「ふじはし星の家」を利用する児童生徒等の各種研修活動への支援と体験活動の実施
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会
実施時期	平成27年4月16日～平成28年2月22日
内 容	<p>「ふじはし星の家」に宿泊する小中学校児童生徒および地域内外の各種団体等が実施する各種研修活動の支援や、自然環境や自然素材を活用した様々な体験活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校児童生徒やスポーツ少年団等の各種団体が実施する研修活動の支援 ・ オリエンテーリングや登山、川遊びや天体観測等の自然環境や施設を活用した体験活動 ・ 丸太切りや木の実クラフトづくり等の自然素材を活用した体験活動 (11月6日現在 52回 2,154名) ・ 杉原山登山道の整備(登山者5月～10月 5団体204名) ・ 体験学習のためのテキスト等整備 小中学生等の教育交流や揖斐川上流水源地域の自然を学習する「鳥類・両生類・は虫類・魚類編」の印刷製本(8月完了)
写 真	   

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(3) 広域で継続的な交流・連携の推進
施策項目	⑧ 活動を通じた上下流交流
具体の施策	揖斐川上下流の小中学児童生徒や一般住民が互いに学び交流できる体験活動の実施
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会
実施時期	8月21日、29日
内 容	<p>下流域関係市(名古屋市)の上下水道局が、木曾三川水源林保全体験として実施する森林間伐体験や徳山ダム見学を支援した。また、上流域のブナ原生林が残る門入地区を訪れ、徳山の歴史や自然環境について学ぶ門入探訪会を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水源林保全体験 雨天のため、間伐体験は実施できなかったが、上流域の森林保全についての思いを資料などで伝えるとともに、間伐材を活用したミニプランターづくりを実施 (36名参加) ・ 門入探訪会 旧徳山村の門入地区を訪れ、徳山の歴史や残されているブナ原生林での森林や昆虫について学ぶツアーを開催 (10名参加)
写 真	   

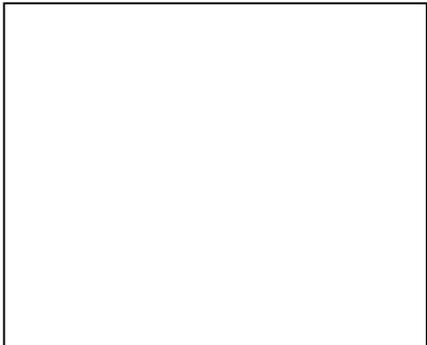
揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(5) みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進
施策項目	⑬情報発信
具体の施策	徳山ダムの機能をはじめ治水・利水の大切さ、さらには当センターの活動内容等を広く伝える情報発信
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会
実施時期	通年
内 容	<p>徳山ダムや水源地域のもつ機能や役割、さらには治水や利水の大切さを多くの方々に伝えていくとともに、活動センターの役割や活動内容についての情報を発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徳山ダムや関連施設の総合案内(10月現在 団体数102 案内人数3,407名) ・ 生命の水と森の活動センターおよび学習館のPR活動(6/7 名古屋市水フェスタ参加、10/18 恋のつり橋フェスタ参加)
写 真	   

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(5) みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進
施策項目	啓発活動の推進
具体の施策	豊かな自然環境の保全について学ぶ様々な研修や啓発活動を実施
団体名等	生命の水と森の活動センター協議会
実施時期	通年
内 容	<p>多種多様の野生生物を育む豊かな自然環境、その仕組みや役割を理解しながらそれらを将来にわたって守り育てていくことの大切さを学ぶ機会を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徳山ダムおよびダム周辺の自然環境について学ぶ研修会 水資源機構徳山ダム管理事務所の米崎所長による徳山ダムの機能や役割についての講和と、自然学総合研究所の西條先生によるダム湖周辺に広がる落葉広葉樹を中心とした森林構成の特徴や、樹木の生態とそれらに応じた植樹・育樹活動の在り方等についての講和を、実のなる木の植樹活動実施日に開催 (11/3 63名参加) ・ 小中学校児童生徒への啓発活動 学習館等での各種体験活動実施時に、利用する素材や体験内容に関わらせながら自然環境保全について学ぶ場を設定
写 真	   

平成26年度 ビジョンの取組報告

独立行政法人水資源機構
徳山ダム管理所

徳山ダム 平成26年度 ビジョンの取組報告

施策1 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目 水環境の保全

・ダム湖の水質監視……………資料Ⅰ

ダム機能保全のための森林の保全整備

・苗木のホームステイ・実のなる木を植えよう大作戦…資料Ⅱ

施策2 日本一の水と緑に感謝し、学び、やすらぐ場としての活用

施策項目 学習の場の提供

・森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施……………資料Ⅲ

・徳山ダム原生林見学ツアー……………資料Ⅳ

施策3 広域で継続的な交流・連携の推進

施策項目 活動を通じた上下流交流

・苗木のホームステイ・実のなる木を植えよう大作戦…資料Ⅱ

徳山ダム 平成26年度 ビジョンの取組報告

施策4 水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策項目 — 観光振興

- ・ 徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）……………資料V
- ・ 洪水吐きからの放流……………資料VI

施策5 みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目 — 啓発活動の推進

- ・ 森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施……………資料III
- ・ 徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）……………資料V
- ・ 徳山ダム原生林見学ツアー……………資料IV

ダム湖の水質監視

資料 I

施策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目：水環境の保全

具体的施策：ダム湖の水環境の保全に取り組む

調査状況（貯水池基準点：網場）

調査頻度（定期水質調査）



回数	調査日
第1回	平成26年 4月16日
第2回	平成26年 5月26日
第3回	平成26年 6月18日
第4回	平成26年 7月16日
第5回	平成26年 8月20日
第6回	平成26年 9月17日
第7回	平成26年10月15日
第8回	平成26年11月19日
第9回	平成26年12月 2日
第10回	平成27年 1月28日
第11回	平成27年 2月18日
第12回	平成27年 3月18日

調査結果（速報値）は、徳山ダムホームページ『現在のダム状況（水質情報）』に掲載。

【参考】水質調査結果（速報値）URL
<http://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/reservoir/reservoir.html>

苗木のホームステイ・実のなる木を植えよう大作戦

施策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

：広域で継続的な交流・連携の推進

施策項目：ダム機能保全のための森林の保全整備

：活動を通じた上下流交流

具体的施策：広葉樹の植樹に取り組む。地域交流を推進する。



植樹場所(コア山)

徳山ダム



活動内容：揖斐川水源地域全体にトチノキ、ナラ、クリ、ブナなどの野生動物の餌となる「実のなる木」を植樹し、その下草刈りや保育作業を通して山の仕事を体験するとともに、生物多様性豊かな森林づくりに努める。

平成27年度も平成26年度年度同様、下流地域にお住まいの方々や下流の小中学生・NPO等とともに活動を行う。

実施予定：下草刈り、獣害防止カバー設置 平成26年 6月29日

苗木のホームステイ（北方小、北和中）

北和中 平成26年10月10日

北方小 平成26年11月 4日

実のなる木を植えよう大作戦 平成26年11月 3日

主催：NPO揖斐自然環境レンジャー、揖斐川中部漁協協同組合
生命の水と森の活動センター協議会

協力機関：岐阜県、揖斐川町、(独)水資源機構

森と湖に親しむ旬間・水の週間イベント実施

施策：日本一の水と森に感謝し、学び、やすらぎ場として活用

みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：学習の場の提供、啓発活動の推進

具体的施策：豊かな自然環境と地域資源の活用により、効果的な学びの環境づくりを図る。水源地域の価値や役割の周知、ダムの必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

徳山ダム堤体内（ゲート室・監査廊）の案内



受付状況



堤体内案内(ゲート室)



監査廊案内

実施日：平成26年8月1日（水の週間）

徳山ダム原生林見学ツアー

施策：日本一の水と森に感謝し、学び、やすらぎ場として活用
みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：学習の場の提供、啓発活動の推進

具体的施策：豊かな自然環境と地域資源の活用により、効果的な学びの環境づくりを図る。水源地域の価値や役割の周知、ダムの必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

徳山ダム原生林見学ツアー

◆活動内容

揖斐川水源地域のブナ林や湿性地など見学ツアーを通して、水源地域の価値や役割を学習し、学びの環境づくりやダムの必要性・重要性を理解していただくための啓発活動を行う。

◆平成26年度状況

試験的に実施の予定であったが、実施計画についての調整に時間を要したため未実施。
(平成27年度に実施)



揖斐川水源地のブナ林



湿性地



徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）

施策：水源地域の魅力を活用した産業の振興
みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：観光振興、啓発活動の推進

具体的施策：観光業界との連携のもと、ツアーコースを設定し、観光の振興を図る。
水源地域の価値や役割の周知、ダムの必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

徳山ダム堤体内（ゲート室・監査廊）の案内（5月9日～11月20日）



徳山ダム号



展望台での説明



徳山ダム堤体内（ゲート室）

施策：水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策項目：観光振興

具体的施策：地域観光資源の一つとして、ダム洪水吐きからの放流を実施する。

常用洪水吐き2門からの放流を実施



実施日：ゴールデンウィーク 5月1日～5日の5日間（合計 約2,400人）
：シルバーウィーク 11月1日～6日の6日間（合計 約1,600人）

平成27年度 ビジョンの取組予定(状況)

独立行政法人水資源機構 徳山ダム管理所

徳山ダム 平成27年度 ビジョンの取組状況

施策1 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目 水環境の保全

・ダム湖の水質監視……………資料Ⅰ

ダム機能保全のための森林の保全整備

・苗木のホームステイ・実のなる木を植えよう大作戦…資料Ⅱ

施策2 日本一の水と緑に感謝し、学び、やすらぐ場としての活用

施策項目 学習の場の提供

・森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施……………資料Ⅲ

・徳山ダムブナ自然林観察ツアー……………資料Ⅳ

施策3 広域で継続的な交流・連携の推進

施策項目 活動を通じた上下流交流

・苗木のホームステイ・実のなる木を植えよう大作戦…資料Ⅱ

徳山ダム 平成27年度 ビジョンの取組状況

施策4 水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策項目 — 観光振興

- ・ 徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）……………資料V
- ・ 洪水吐きからの放流……………資料VI

施策5 みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目 — 啓発活動の推進

- ・ 森と湖に親しむ旬間・水の週間イベントの実施……………資料III
- ・ 徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）……………資料V
- ・ 徳山ダムブナ自然林観察ツアー……………資料IV

ダム湖の水質監視

資料 I

施策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

施策項目：水環境の保全

具体的施策：ダム湖の水環境の保全に取り組む

調査状況（貯水池基準点：網場）

調査頻度（定期水質調査）



回数	調査日
第1回	平成27年 4月15日
第2回	平成27年 5月20日
第3回	平成27年 6月17日
第4回	平成27年 7月15日
第5回	平成27年 8月19日
第6回	平成27年 9月16日
第7回	平成27年10月21日
第8回	継続実施中
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

調査結果（速報値）は、徳山ダムホームページ『現在のダム状況（水質情報）』に掲載。

【参考】水質調査結果（速報値）URL
<http://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/reservoir/reservoir.html>

苗木のホームステイ・実のなる木を植えよう大作戦

施策：日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

：広域で継続的な交流・連携の推進

施策項目：ダム機能保全のための森林の保全整備

：活動を通じた上下流交流

具体的施策：広葉樹の植樹に取り組む。地域交流を推進する。



活動内容：揖斐川水源地域全体にトチノキ、ナラ、クリ、ブナなどの野生動物の餌となる「実のなる木」を植樹し、その下草刈りや保育作業を通して山の仕事を体験するとともに、生物多様性豊かな森林づくりに努める。

平成27年度も平成26年度年度同様、下流地域にお住まいの方々や下流の小中学生・NPO等とともに活動を行う。

実施予定：下草刈り、獣害防止カバー設置 平成27年 6月28日
苗木のホームステイ（北方小、北和中）

北和中 平成27年 9月25日

北方小 平成27年10月26日

実のなる木を植えよう大作戦 平成27年11月 3日



主催：NPO揖斐自然環境レンジャー、揖斐川中部漁協協同組合
生命の水と森の活動センター協議会

協力機関：岐阜県、揖斐川町、(独)水資源機構

森と湖に親しむ旬間・水の週間イベント実施

施策：日本一の水と森に感謝し、学び、やすらぎ場として活用

みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：学習の場の提供、啓発活動の推進

具体的施策：豊かな自然環境と地域資源の活用により、効果的な学びの環境づくりを図る。水源地域の価値や役割の周知、ダムの必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

徳山ダム堤体内（ゲート室・監査廊）の案内



受付状況



堤体内案内(ゲート室)



監査廊案内

実施日：平成27年8月3日（水の週間）

徳山ダムブナ自然林観察ツアー

施策：日本一の水と森に感謝し、学び、やすらぎ場として活用
みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：学習の場の提供、啓発活動の推進

具体的施策：豊かな自然環境と地域資源の活用により、効果的な学びの環境づくりを図る。水源地域の価値や役割の周知、ダムの必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

徳山ダムブナ自然林観察ツアー

◆活動内容

揖斐川水源地域のブナ林の観察ツアーを通して、水源地域の価値や役割を学習し、学びの環境づくりやダムの必要性・重要性を理解していただくための啓発活動を行う。

◆平成27年度状況

- 門入地区ブナ自然林観察ツアー
7/19, 8/7, 24 11/10, 13
一般応募者 126名
- 徳山湖上流探訪会
8/29 小学生親子10組20名



徳山ダム見学ツアー（名阪近鉄バス）

施策：水源地域の魅力を活用した産業の振興
みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

施策項目：観光振興、啓発活動の推進

具体的施策：観光業界との連携のもと、ツアーコースを設定し、観光の振興を図る。
水源地域の価値や役割の周知、ダムの必要性・重要性を理解して頂くための啓発活動を行う。

徳山ダム堤体内（ゲート室・監査廊）の案内（4月9日～11月）



徳山ダム号



展望台での説明



徳山ダム堤体内（ゲート室）

施策：水源地域の魅力を活用した産業の振興

施策項目：観光振興

具体的施策：地域観光資源の一つとして、ダム洪水吐きからの放流を実施する。

常用洪水吐き2門からの放流を実施



実施日：ゴールデンウィーク 5月1日～5日の5日間（来訪者：約2,600人）
：シルバーウィーク 10月31日～3日の4日間（来訪者：約2,000人）

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用 (3) 広域で継続的な交流・連携の推進 / (4) 水源地域の魅力を活用した産業の
施策項目	⑤学習の場の提供 / ⑦健康づくりと安らぎの場の提供 ⑧活動を通じた上下流交流 / ⑪観光振興
具体の施策	揖斐川とともに50年 (横山ダム50周年) ダムイベント(記念式典、イベント)
団体名等	横山ダム50周年記念事業実行委員会 (国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所 横山ダム管理支所)
実施時期	7月19日～7月31日
内 容	<p>揖斐川流域の市町、徳山ダム、中部電力(株)、イビデン(株)の皆様からなる、横山ダム50周年実行委員会を組織して実施しています。</p> <p>【記念式典】 7月19日(土) 横山ダム50周年を祝う記念式典を行う。</p> <p>【ダム堤頂部一般開放】 7月19日(土) ダム堤頂部を50周年を機に一般開放をしました。</p> <p>【ダム見学会】 7月19日(土)～31日(木) 土・日・祝日は随時見学、平日は予約制 ※20日は揖斐の二大ダム見学(横山ダム・徳山ダム)を実施しました。</p> <p>【ファンタジーホール一般開放】 7月19日(土)～21日(祝)、26日(土)、27日(日)ダム堤体内の一部空間を一般に開放し、パネル展示、ビデオ放映、落書きや塗り絵コーナー常設しました。</p> <p>【期間中のダム見学者】(7月19日～31日) 789名 (式典参加者・見学者を除く)</p>
写 真	 <p>↓ ダム中空部内 ↑ らくがきコーナー →</p>   <p>ダムマニアの皆様 →</p> 

揖斐川とともに50年 横山ダム50周年イベント

～平成26年度 森と湖に親しむ旬間～

【イベント内容】

- ダムイベント：平成26年7月19日～7月31日（森と湖に親しむ旬間：平成26年7月21日～7月31日）
- 7月19日午前に横山ダム50周年記念式典を実施。岐阜県選出国會議員、揖斐川沿川選出県會議員、揖斐川沿川首長、揖斐川町区長などの参加により執り行いました。地元幼稚園によるアトラクションや郷土芸能「三倉の太鼓踊り」が披露されました。
- 期間中の休日には、ダム見学会、堤体内展示スペースの一般開放を行いました。また、19日からはダム堤頂部の一般開放もスタートしました。
- イベント期間中のダム見学には789名の方に参加いただきました。



地元幼稚園によるアトラクション



三倉の太鼓踊り



テープカット・くす玉開披

揖斐川とともに50年 横山ダム50周年イベント

～平成26年度 森と湖に親しむ旬間～



ダム見学会 説明の様子

※7月20日限定で徳山ダムも見学できる揖斐の二大ダム見学を実施



堤体内一般開放の様子

揖斐川とともに50年 横山ダム50周年イベント

～平成26年度 森と湖に親しむ旬間～

7.20 岐阜新聞朝刊

式典の様子に関する記事

(著作権の都合により省略)

7.18 中日新聞朝刊

7.20 中日新聞朝刊

揖斐川とともに50年 横山ダム50周年イベント

～平成26年度 森と湖に親しむ旬間～

50周年記念事業 チラシ

揖斐川 とともに 50年

横山ダム50周年

ダムイベント 安全による自然体験、空気の清さは止る
ことがありませんのでご注意ください。

50周年記念式典 7/19(日)10:00～

横山ダム50周年を祝う記念式典を行います。
19日は通常の駐車場がご用意されていますので、道の駅へお越し
いただき、お楽しみください。

ダム堀頂部 一般開放 7/19(日)13:00～

横山ダムの堀頂部を50周年を機に一斉開放します。
ダムからの景色をお楽しみください。

ダム見学会開催 7/19(日)8:30～31(日)10:00～16:00

中央式のダム掘体内を見学できます。
お申し込みは、堀内見学受付
センター(平日9:00～17:00)まで
お申し込みください。
お申し込み受付期間です。詳しくは横山ダム
50周年記念事業ホームページをご覧ください。



ダム掘内での見学会の様子

ファンタジーホール 一般開放 7/19(日)12:00・20(日)10:00・21(月)10:00・26(土)10:00・27(日)10:00～16:00

この5日間は、掘体内のファンタジーホールを一斉開放します。ホール内では観音堂のピタコ映像を放映
するほか、横山ダムを紹介したパネルや昔の揖斐川の様子をご覧ください。詳しくは「揖斐川」の展示(裏)の展示
を行います。

揖斐川交流イベント 詳しくは横山ダムの50周年記念事業
ホームページをご覧ください。

スタンプラリー 8/1(日)～11/30(日)(予定)

食文化交流「ダムカレー(予定)」

地域交流ツアー(予定)



横山ダム50周年記念事業では、他にも様々なイベントを予定しています。
詳しくは下記「横山ダム50周年」ホームページをご覧ください。
ダム見学会をご希望の方は、このホームページからお申し込みいただけます。
<http://www.yokoyamadam-50th.jp>
(ホームページの「お問い合わせ」ボタンからは、左のQRコードをご利用ください。)

横山ダム50周年記念事業実行委員会
代表者 大塚 隆雄(代表)、大塚 隆雄(代表)、大塚 隆雄(代表)、大塚 隆雄(代表)、大塚 隆雄(代表)、大塚 隆雄(代表)、大塚 隆雄(代表)、大塚 隆雄(代表)
連絡先 横山ダム50周年記念事業事務局(岐阜県岐阜市横山町1-1-1) 電話:056-251-1325(受付時間)
〒500-0001 岐阜県岐阜市横山町1-1-1 横山ダム50周年記念事業事務局 Tel. 056-251-1325(受付時間)



揖斐川とともに50年

「おだやかさ」と「激しさ」2つの顔を持つ「揖斐川」

揖斐川は岐阜県西部に位置し、福井県との県境の冠山(標高
1,257m)に源を発し、奥尾平野の最も西側を流れ、三連峡
桑名市等を経て、伊勢湾に注ぐ幹川流延長121km、
流域面積1,840km²の一般河川です。大垣市をはじめ
め産業、交通が高度に発達した地域を流れ、
長く地域の経済や生活、文化を育んできました。
一方、台風等による洪水被害が多く発生し、
生命や財産をおびやかすという、常に相反する二
つの顔を持った河川として、長い歴史の中、地域と関
り続けてきました。

横山ダムは河口より80km上流の岐阜県
揖斐郡揖斐川町に位置し、昭和39年の
ダム完成以降は、洪水から下流地
域を守り、農業用水、発電等
により地域の発展に役立って
きました。



横山ダム流域(横山ダムに雨や雪などの水が流れ込む区域)

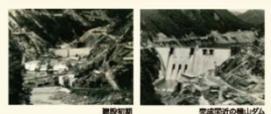
横山ダムのあゆみ



昭和28年	建設省が直轄事業として調査着手
昭和34年9月	ダム工事着手
昭和39年6月	ダム完成
昭和39年10月	ダム管理開始
昭和40年	管理開始以降、最大の流入量(約2,500m ³ /s)
平成2年	横山ダム再開発事業に着手
平成6年	異常洪水によりダム滞水
平成20年	徳山ダムとの連携運用を開始
平成23年3月	横山ダム再開発事業完了
平成26年	ダム完成後50年を迎える

横山ダムは、治水や水資源開発に対する地域からの要請に
より建設が計画されました。昭和26年から岐阜県による調査
が始められ、昭和28年には所管が建設省(現国土交通省)
に移り、昭和34年に工事着手、昭和39年に完成しました。

平成2年から平成23年までは、湖内に貯まった土砂を掘削
してダム機能の回復を図り、洪水調節のための容量を増加さ
せる「再開発事業」を実施。また、平成20年からは、横山ダム
から約10km上流に完成した徳山ダムと連携することで、治
水・利水の機能をさらに強化しています。



建設時



完成後の横山ダム



現在の横山ダム



ファンタジーホール



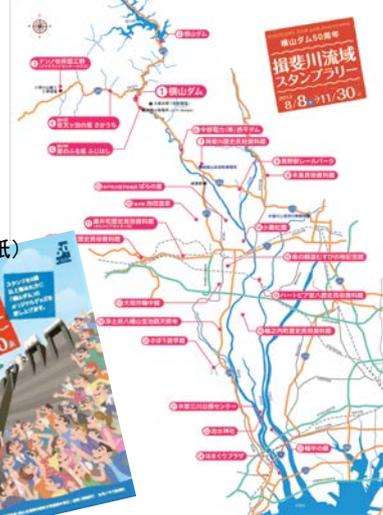
ファンタジーホール

こだわりの技術

横山ダムは、中空重力
式というダムの中に空間
がある大変珍しい形式の
ダムです。日本国内にある
約3,000ものダムの中で、
13ダムしかありません。
空間を活用したファン
タジーホールでは、現在、
横山ダム及び揖斐川流域
のパネル展示を行って
います。

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(3) 広域で継続的な交流・連携の推進
施策項目	⑧活動を通じた上下流交流
具体の施策	横山ダム50周年地域交流事業(スタンプラリー)
団体名等	国土交通省 木曾川上流河川事務所
実施時期	平成26年8月8日～11月30日
内 容	<p>◆目的 スタンプラリーを通じて、揖斐川流域の治水歴史、水利用、河川環境、文化等を学びながら地域交流を促進するとともに、揖斐川の魅力を再発見する</p> <p>◆対象 一般</p> <p>◆ラリーポイント 揖斐川流域24箇所(13市町) 横山ダム／徳山ダム／ナンノ谷床固工群／道の駅 さかうち／道の駅 ふじはし／西平ダム／揖斐川歴史民俗資料館／本巢民俗資料館／黒野駅レールパーク／道の駅 池田温泉／垂井町歴史民俗資料館／関ヶ原町歴史民俗資料館／ばらの里／小簾紅園／奥の細道むすびの地記念館／大垣市輪中館／輪之内町歴史民俗資料館／天照寺／さぼう遊学館／木曾三川公園センター／治水神社／輪中の郷／はまぐりプラザ</p> <p>◆景品 横山ダムオリジナルポストカードなど</p>
写 真	<p>◇マップ(スタンプ台掲示)</p>  <p>◇マップ(スタンプ台掲示)</p>  <p>◇台紙(表紙)</p>  <p>◇台紙(中面)</p> 

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(3) 広域で継続的な交流・連携の推進
施策項目	⑧活動を通じた上下流交流
具体の施策	横山ダム50周年地域交流事業(地域交流ツアー)
団体名等	国土交通省 木曾川上流河川事務所
実施時期	平成26年8月23日、29日
内 容	<p>【河川環境を学ぶエクスカージョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的 歴史と生活等が培ってきた揖斐川の河川環境等を学ぶ ◆対象 揖斐川町在住もしくは在勤の小中学生の親子 ◆見学先 はまぐりプラザ(しじみ漁実演)／木曾三川公園 治水タワー／治水神社／輪中館／奥の細道むずびの地記念館 <p>【治水史を学ぶエクスカージョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆目的 横山ダム、徳山ダムなどの揖斐川流域の治水施設の取り組みについて、地域住民に知って頂くために、ダム及び工事現場を見学してもらい、公共事業への親しみと理解を深めてもらうとともに、今後の地域づくりについて関心を持ってもらう。 ◆対象 一般 ◆見学先 西平ダム／大蔵谷第1砂防堰堤／横山ダム／徳山ダム
写 真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>◇横山ダム</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>◇木曾三川公園</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>◇治水神社</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>◇徳山ダム</p>  </div> </div>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

<p>施策</p>	<p>(3) 広域で継続的な交流・連携の推進</p>
<p>施策項目</p>	<p>⑧活動を通じた上下流交流</p>
<p>具体の施策</p>	<p>横山ダム50周年地域交流事業(食文化交流)</p>
<p>団体名等</p>	<p>国土交通省 木曾川上流河川事務所</p>
<p>実施時期</p>	<p>平成26年8月8日～11月30日</p>
<p>内 容</p>	<p>◆目的 ダムや河川を基軸とした持続的な地域活性化を図るため、揖斐川流域の特産物を用いた食文化交流を行う</p> <p>◆「よことくダムカレー」とは…</p> <p>①横山ダムの連携効果をイメージできるよう、ダムに見立てたご飯2を2箇所盛る。</p> <p>②ダムにより守られている揖斐川流域の特産物を必ず1つ以上入れる。</p> <p>◆製作／販売箇所</p> <p>道の駅 星のふる里 ふじはし / 道の駅 夜叉ヶ池の里 さかうち</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>◇道の駅 星のふる里 ふじはし (藤橋の特産品 しいたけ入り)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>◇のぼり旗</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>◇道の駅 夜叉ヶ池の里 さかうち (名物 ダチョウコロッケ入)</p>  </div>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供 ⑦健康づくりと安らぎの場の提供
具体の施策	ダム見学会の通年実施
団体名等	国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所 横山ダム管理支所
実施時期	通年(開庁日)
内 容	<p>全国に13基しかない「中空重力式コンクリート」ダムの見学会を行い、徳山ダムとの連携操作や揖斐川の治水、ダム設備の概要、役割などを説明します。</p> <p>見学可能日：年末年始を除く平日 見学時間：午前10時～、午後2時～ の2回 (見学は約1時間) 見学申込み：事前予約(平日午後4時までに)</p> <p>※ 降雨や業務等の状況により、見学をお断りする場合があります。</p>
写 真	 <p>★見学について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学は、年末年始を除く平日のみです。 ・見学の時間は午前10時～・午後2時～の2回です。見学は約1時間です。 ・降雨や業務等の状況により、見学をお断りする場合があります。 ・見学の申込みは、平日の午後4時までにお願いします。 ・各回とも、定員になり次第締め切らせていただきます。ご了承ください。 <p>★予約先 → 岐阜県揖斐郡揖斐川町東横山1330 木曾川上流河川事務所 横山ダム管理支所 TEL: 0585-52-2211 FAX: 0585-52-2227</p> <p>国土交通省中部地方整備局 木曾川上流河川事務所 横山ダム管理支所</p>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供 ⑦健康づくりと安らぎの場の提供
具体の施策	ダム見学会の通年実施
団体名等	国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所 横山ダム管理支所
実施時期	通年(開庁日)
内容	<p>全国に13基しかない「中空重力式コンクリート」ダムの見学会を行い、徳山ダムとの連携操作や揖斐川の治水、ダム設備の概要、役割などを説明します。</p> <p>見学可能日：年末年始を除く平日 見学時間：午前10時～、午後2時～ の2回 (見学は約1時間) 見学申込み：事前予約(平日午後4時までに)</p> <p>※ 降雨や業務等の状況により、見学をお断りする場合があります。</p>
写真	

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供 / ⑦健康づくりと安らぎの場の提供
具体の施策	森と湖に親しむ旬間 イベント
団体名等	国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所 横山ダム管理支所
実施時期	平成26年7月21日～平成26年7月31日 (イベント実施日7月25日(土))
内 容	<p>横山ダムでは、7月21日～31日の「森と湖に親しむ旬間」にあわせて、全国に13基しかないダムの内部空間を活用したイベントを実施しました。 横山ダムについて、より多くの方に知っていただくため、ダム内部の見学会をメインに、パネル展示・建設当時のビデオ放映などを実施しました。</p> <p>【7月25日(土)のイベント内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中空重力式コンクリート」ダムの中を見学し、ダムの概要、役割等を理解してもらいました。 ・ダム見学待合室では、横山ダムの建設当時記録映像を放送し、当時の建設経緯などを見てもらいました。 ・ダム天端に災害対策車両(排水ポンプ車、照明車)の展示及び説明などを実施しました。 ・流木配布も好評でした。 <p>【7月25日(土)の見学者数】 211名 ※ダム見学会開始前から県外の方々が訪れる(高知県、福岡県、石川県、埼玉県)</p>
写 真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ダム天端</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ダム天端(照明車)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ダム監査路内</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ダム中空部内</p> </div> </div>

毎年7月21日から7月31日までは

「森と湖に親しむ旬間」です

「森と湖に親しむ旬間」は、森林や湖に親しむことにより、心身をリフレッシュしながら、森林やダム等のもっている自然豊かな空間や社会生活に果たしている役割について理解を深めていただくことを目的としています。毎年、この期間中には全国の多くのダムで、見学会などのイベントが開催されています。

横山ダムでは平成27年7月25日(土)にイベントを開催しました

ダム見学



災害対策車両の展示



国土省パネル 展示



流木配布



たくさんの
ご来場ありがとうございました！



■越美山地 緑の回廊

福井県（越前）、岐阜県（美濃）の県境に位置する越美山地は、九頭竜川、揖斐川、長良川の水源で、有名な伝説のある夜叉ヶ池や熊野白山権現社を祀る熊郷白山が所在するなど、由緒ある地域として知られている。

越美山地緑の回廊では、国内希少野生動植物種のヤシヤゲンゴロウ、日本海側特有のブナ林等が見られるほか、国指定特別天然記念物にニホンカモシカをはじめとした様々な動物達の移動・交流が行われている。

■面積

単位: ha

	森林管理局		合計
	中部	近畿中国	
緑の回廊	7,260	17,224	24,484
連結される保護林	1,963	752	2,715
合計	9,223	17,976	27,199

■延長

約66km

■連結する保護林

名称		面積 (ha)
中部	三周ヶ岳ブナ植物群落保護林	1,131
	能郷白山ブナ植物群落保護林	641
	名古屋ブナ2林木遺伝資源保存林	9
	岩の子ブナ植物群落保護林	182
近畿中国	檜俣ブナ植物群落保護林	162
	夜叉ヶ池水生昆虫生息地保護林	16
	上谷山ブナ・ミズナラ植物群落保護林	574

■区域図



1. 調査の概要

1-1. 調査の目的

本業務は、越美山地緑の回廊における生物の多様性、森林生態系の維持、地元生産活動等への動物の影響等について、森林の状態とそこに生息するツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシなどの大型哺乳類等、野生動物の生息実態を把握し、その関係を明らかにすることを目的としてモニタリング調査を実施するものである。

また、その調査結果をもとに、緑の回廊の有効性について検証を行うとともに、今後の緑の回廊の設定及び森林施業等の取り扱いに反映させるものとする。

1-2. 調査内容

1-2-1. 基準図書・調査マニュアル

モニタリング調査は、「越美山地緑の回廊モニタリング計画策定調査報告書」（平成18年2月）、「越美山地緑の回廊モニタリング調査 検討会報告書」（平成22年2月）により実施した。

具体的な調査仕様は下記に示すとおりであり、その調査手法は「国有林野における緑の回廊のモニタリング調査マニュアル」（平成15年1月）（以下調査マニュアルと表記）に準拠した。

1-2-2. 現地調査項目

（1）森林調査

平成22年度からモニタリング調査を継続している7調査箇所において、森林の状況確認及びプロット区域表示杭の確認を行った。

（2）種子の豊凶調査

調査箇所において、ブナ類、ナラ類を対象として結実割合、結実状況の調査を目視により行った。

（3）動物調査

①フィールドサイン調査（直接観察・痕跡調査）

フィールドサイン調査を、自動撮影カメラの設置や回収、フィルム交換や点検時に合わせて実施した。

②自動撮影調査とステーション調査の組み合わせ調査

自動撮影カメラは森林調査プロットの周辺に調査箇所ごとに各3台を設置した。実施期間は6月から11月までの約6ヶ月間とし、原則として4週間ごとに記録メディア、電池等の交換を実施した。

③聞き取り調査

地元住民等関係者への農林産物被害状況、狩猟鳥獣に関する聞き取り調査、資料調査を行った。

④ツキノワグマ・ニホンジカ等の被害状況確認

越美山地緑の回廊調査地周辺のツキノワグマ、ニホンジカ被害（植生への食圧、剥皮、角研ぎ等）について記録（写真撮影を含む）して取りまとめた。

（４）鳥類調査

①ラインセンサス調査

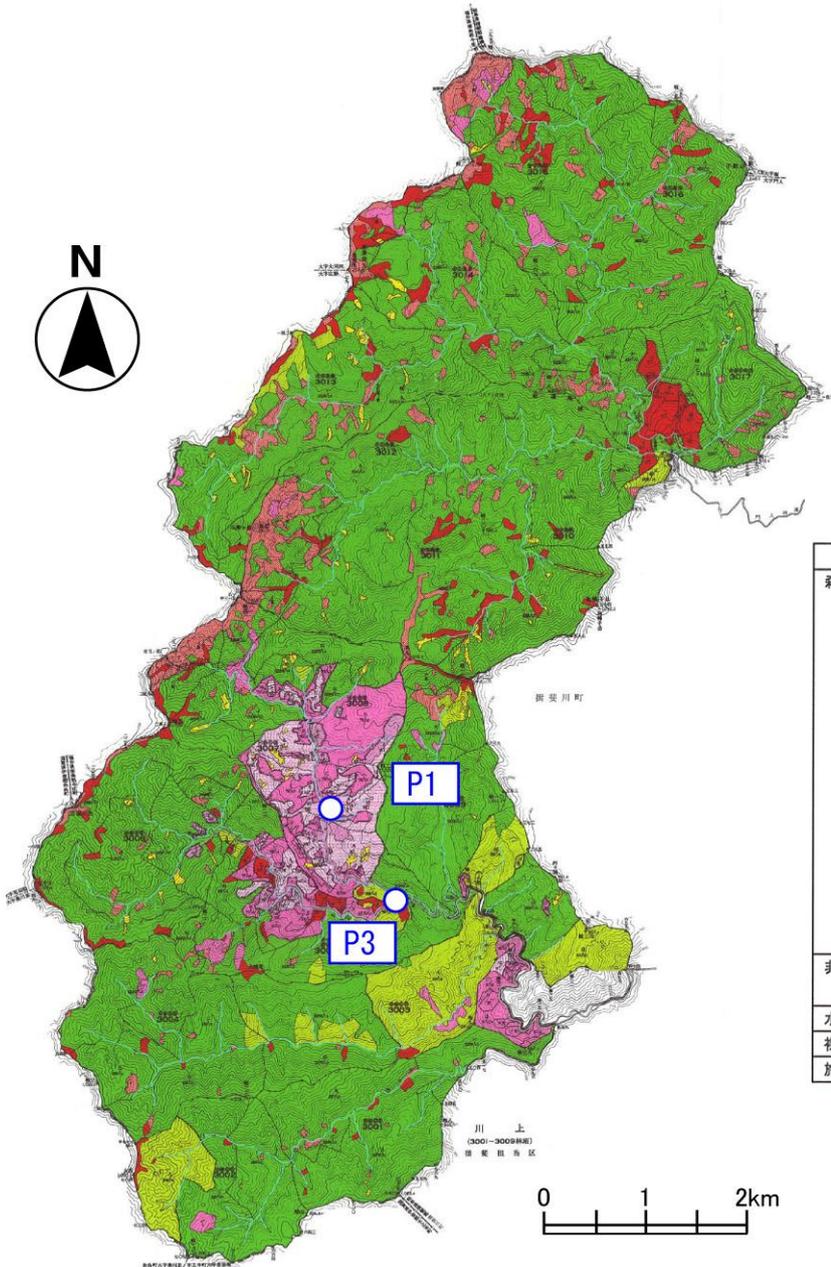
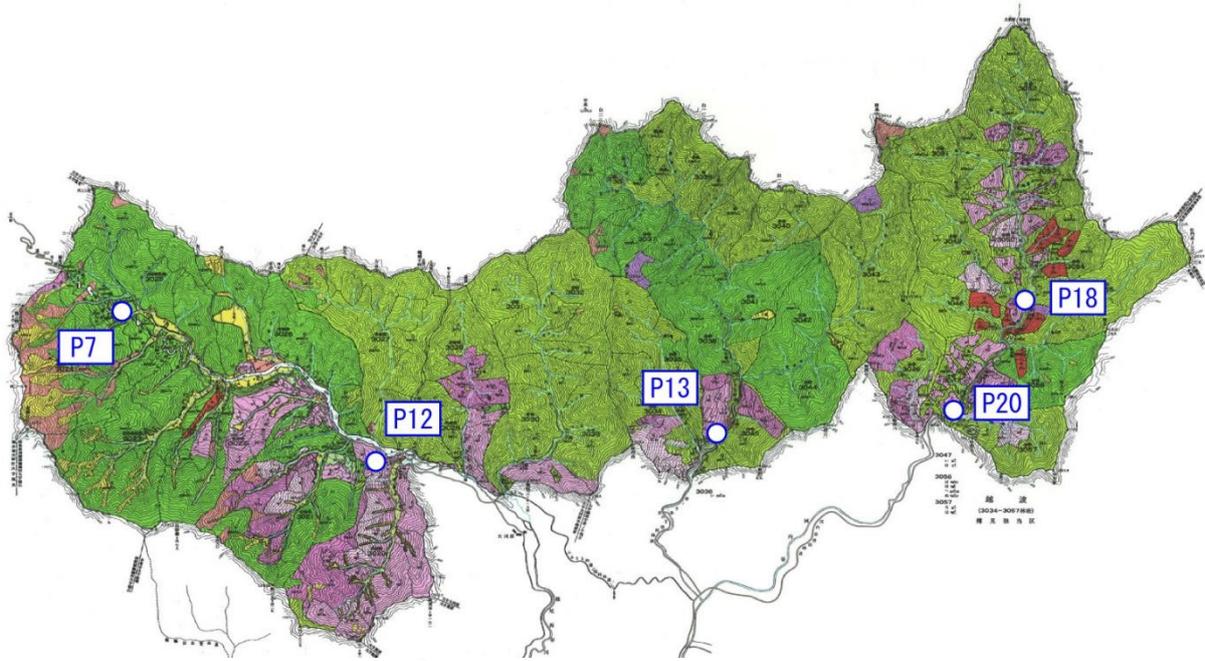
各プロット周辺の林道約1kmのセンサスルートを設定し、繁殖期と秋季の2時期にラインセンサス法による鳥類調査を行った。

1-2-3. 調査報告書の作成

調査目的、調査内容、方法、成果等について整理・解析し、調査報告書にまとめた。

1-3. 調査対象地域

本調査における調査箇所を図2-1-1に示す。



凡 例

区分	林種	林分の発達段階	記号	色区分
森林	タイプⅠ 天然林	林分成立段階	S I	■
		若齢段階	N Y	■
		成熟段階	N M	■
		老齢段階	N O	■
		非老齢攪乱段階	N D	■
	タイプⅡ 人工林	林分成立段階	S I	■
		若齢段階	P Y	■
		成熟段階	P M	■
		老齢段階	—	—
		非老齢攪乱段階	P D	■
	タイプⅢ 混交林	林分成立段階	S I	■
		若齢段階	I Y	■
成熟段階		I M	■	
老齢段階		N O	■	
	非老齢攪乱段階	I D	■	
非森林植生	笹生地、灌木（5m以下）、 ハイマツ林、草地		D V	■
水系	河川、沢、池、沼、湿地		W	■
裸地	岩石地、崩壊地、岩礫堆積地		R	■
施設	国道、林道		R D	■

図2-1-1 越美山地緑の回廊の
林分配置と調査箇所位置図

2-3. 種子の豊凶調査

2-3-1. 調査方法

動物調査箇所において、ブナ類、ナラ類を対象として結実割合、結実状況を目視により把握し、種子の内容はシイナ率を調べた。調査は平成26年10月23、24日に実施した。

なお調査方法は結実状況アンケート法（調査マニュアルp119-120）に準じた。

2-3-2. 調査結果

調査結果を表2-3-1に示す。

全般的にブナ、ナラ類ともに凶作傾向であった。種子が確認された場合でも、結実している樹木や結実量はごく僅かであった。当該地域では昨年度よりマイマイガが大量発生している。6月の時点でブナ、ナラ類ともに顕著な摂食被害が確認されており、種子生産に影響した可能性がある。

表2-3-1 種子の豊凶調査結果

調査地点	P1		P3		P7		P12	
樹種	ブナ	ミズナラ	ブナ	ミズナラ	ブナ	ミズナラ*	ブナ	ミズナラ
結実割合	—	なし	なし	なし	なし	なし	—	なし
結実状況	—	非結実	非結実	非結実	非結実	非結実	—	非結実
種子の内容	—	不良	—	—	—	—	—	—
備考	ブナは生育していない。	種子はほとんど見られない。	種子はほとんど見られない。	種子は見られない。	ブナの大径林が多く生育する。種子は見られない。	ミズナラは点在するが、種子は見られない。	ブナは生育していない。	プロット内、周辺共にミズナラは点在するが、結実は確認出来ない。

調査地点	P13		P18		P20	
樹種	ブナ	ミズナラ	ブナ	ミズナラ	ブナ	ミズナラ
結実割合	なし	なし	なし	少	—	少
結実状況	非結実	非結実	非結実	一部	—	一部
種子の内容	—	—	—	不良	—	不良
備考	道沿いで1株のブナを確認するが、種子は見られない。	木は多数あるが種子は見られない。	種子は見られない。	種子はほとんど見られない。	ブナは生育していない。	ミズナラは数本確認するが、種子はほとんど見られない。

*:プロット小班に分布せず、アクセス路で確認したもの

2-5. 自動撮影調査

2-5-1. 調査方法

1調査地点あたり3台のデジタル式自動撮影カメラを設置し、哺乳類の撮影確認を行った。

センサーカメラには、トロフィーカムXLT（Bushnell社）を使用し、その設定を表2-5-1に示す。センサーカメラはインターバルを10秒として、1回の赤外線センサーの反応で1回の撮影を行った。設置したカメラの記録メディアの回収、電池交換等は原則として4週間に1回実施した。

表2-5-1 センサーカメラの設定

設定パラメーター	メニュー選択	説明（ ）は本調査では設定不要
Mode	Camera	静止画
Image Size	5M Pixel	撮影画素数
Capture Number	1	1回の反応での撮影回数(枚数)
Video Size	—	(動画の場合の画像サイズ)
Video Length	—	(動画の場合の撮影時間)
Interval	10sec	撮影後の無撮影時間
Sensor Level	Normal	センサー感度
Format	Execute	SDカードのフォーマット
TV Out	—	(外部接続の場合)
Time Stamp	On	画像ファイルへの日時の写し込み
Set Clock	Year Month day time	日時の設定
Default Set	—	(設定を初期設定に戻す)

自動撮影カメラの設置位置を図2-1-2及び図2-1-3に示す。カメラの設置位置は平成24年度調査と同様の箇所であるが、P7-3、P12-1については、現地の状況に合わせて設置位置を移動した。

撮影期間は6月中旬から11月下旬までの約160日間である。設置回収日と各月上下旬ごとの正常稼働日数を表2-5-2に示す。

動物の撮影結果については、撮影回数（枚数）のほかに、同一カメラで同一種が5分以内に連続的に撮影されたものは1カウントとし、この“カウント数”の集計を行った。センサーカメラでは、個体の特定ができず頭数の把握は不完全であるため、このカウント数を用いて調査地点の利用度について比較・分析することとした。なお、個体数は考慮しないため、群れで撮影された場合も1カウントとした。

またカメラが不調になるなど、カメラにより稼働日数が異なることがある。そのため、地点や時期別の比較には、このカウント数をカメラ稼働日数（カメラナイト：CNと記す）で除し、10倍（10日当りの値）した数値を撮影頻度として用いた。

2-5-2. 調査結果

(1) 撮影結果の概要

調査により撮影された画像の解析結果を表2-5-3と表2-5-4に、撮影された哺乳類・鳥類の写真を写真2-5-2～写真2-5-18に示す。

自動撮影調査では、設置回収時のテスト撮影も含め、現地では9,115枚の画像が撮影された。このうち、哺乳類は全体の35.3%の3,216回（うち種類が判明したものは3,191回）撮影されており、鳥類は僅かに0.1%の11回に過ぎなかった。

撮影された動物の内訳は、哺乳類11種類、鳥類4種類であった（表2-5-3、表2-5-4）。

種類ごとに撮影された回数をみると、ニホンジカが1,635回（51.2%、哺乳類撮影回数に対して、以下同じ）と過半数であり、次いでイノシシが803回（25.2%）、ニホンザルが412回（12.9%）と3種で89.3%を占めた（図2-5-1）。またカモシカが148回（4.6%）で、これ以外の種は100回以下であった。因みに大量出没年であったツキノワグマは44回であった。

鳥類ではヤマドリが最も多く8回撮影された。

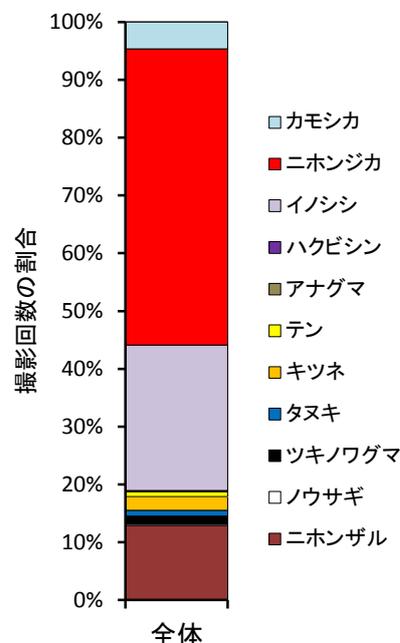


図2-5-1 自動撮影で撮影された哺乳類の割合

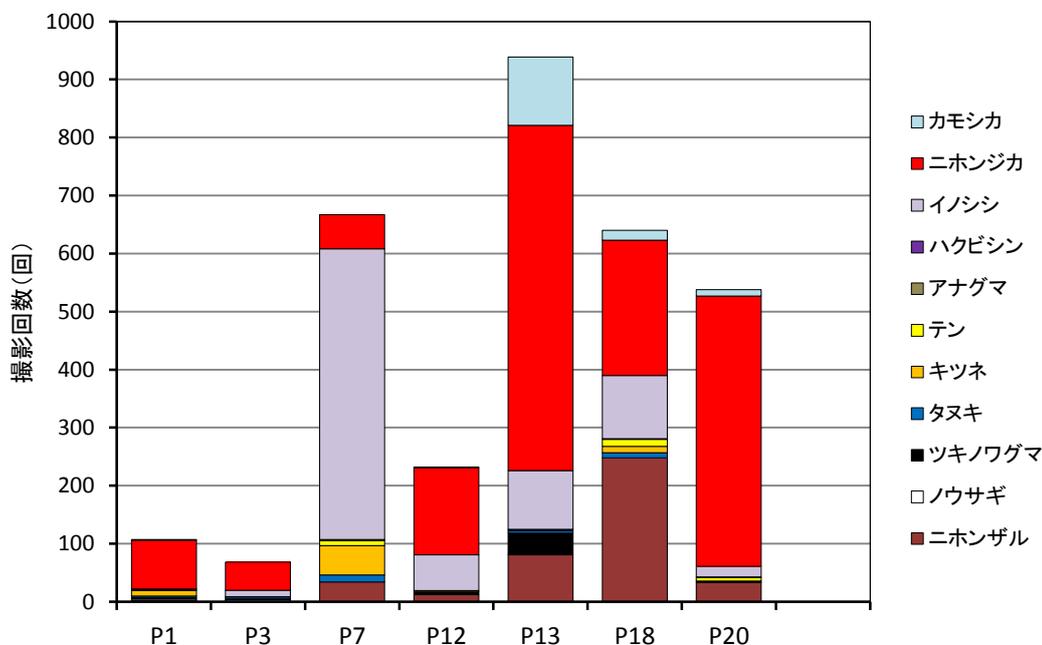


図2-5-2 自動撮影調査 プロット別哺乳類撮影回数

地点別では、越波国有林と大河原国有林で動物の撮影回数が多く、川上国有林では少ない傾

向がある（図2-5-2）。特に越波国有林のP13、P18、P20ではニホンジカの撮影回数が顕著に多くなっており中でも、P13ではカモシカ、イノシシ、ツキノワグマ及びニホンザルも多く合計で939回哺乳類が撮影された（不明種除く）。また、P18ではニホンザルが7地点中最も多く、イノシシも比較的多い。P20ではニホンジカの占める割合が高い。大河原国有林のP7ではイノシシの撮影回数が501回あり、哺乳類全体の撮影回数もP13に次ぐ667回であった。川上国有林では哺乳類全体の撮影頻度が少なく、相対的にニホンジカの占める割合は高い。

哺乳類の撮影回数を時期別にみると、10月までは増加し、11月以降は減少している。8月～10月の3ヶ月はほぼ同じ位で撮影回数は多かった（図2-5-3）。撮影回数が最も多いニホンジカは月別の撮影回数にあまり差がなく、ニホンザルやイノシシには季節的な変動がみられる。

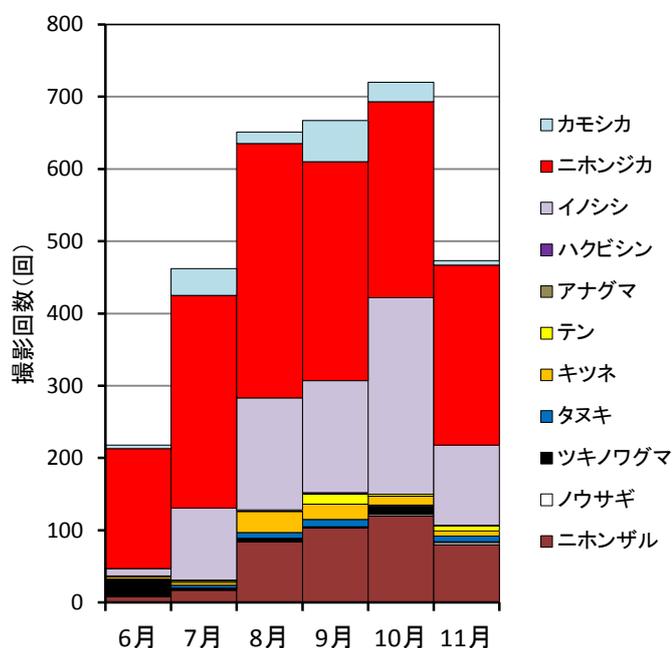


図2-5-3 自動撮影調査 月別哺乳類撮影回数

哺乳類別に各月の上下旬でカウント数を集計したものを表2-5-5に示す。集計はカメラごとに行い、8調査箇所ごとに集計した。

表2-5-4 自動撮影調査結果(撮影回数・個体数)一覧表(プロット別・月別)

区分	種名	内容	プロット別集計								月・旬別集計										合計	
			P1	P3	P7	P12	P13	P18	P20	6月		7月		8月		9月		10月		11月		
										下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬		上旬
哺乳類	ニホンザル	撮影回数	3	1	34	12	81	248	33	8	5	12	27	57	19	84	72	48	71	9	412	
		個体数	3	1	56	13	122	448	39	11	6	17	53	93	28	149	142	69	105	9	682	
	ノウサギ	撮影回数	2	3	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1	3	0	7	
		個体数	2	3	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1	3	0	7	
	ツキノワグマ	撮影回数	2	1	0	5	36	0	0	23	2	1	4	0	2	0	0	11	1	0	44	
		個体数	2	1	0	5	40	0	0	27	2	1	4	0	2	0	0	11	1	0	48	
	タヌキ	撮影回数	3	3	12	0	4	9	2	1	2	2	0	8	6	4	0	2	1	7	33	
		個体数	3	3	12	0	5	9	2	1	2	2	0	8	6	4	0	2	1	8	34	
	キツネ	撮影回数	9	1	51	2	2	11	0	3	4	0	11	18	17	4	7	5	1	6	76	
		個体数	9	1	52	2	2	12	0	3	4	0	11	18	18	4	8	5	1	6	78	
	テン	撮影回数	2	0	8	0	0	12	6	1	0	2	1	0	4	10	3	0	1	6	28	
		個体数	2	0	8	0	0	12	6	1	0	2	1	0	4	10	3	0	1	6	28	
	アナグマ	撮影回数	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		個体数	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ハクビシン	撮影回数	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	4	
		個体数	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	4	
	イノシシ	撮影回数	1	11	501	62	101	109	18	10	29	71	86	69	58	97	183	89	91	20	803	
		個体数	1	11	570	97	102	110	22	10	50	109	95	90	68	102	189	89	91	20	913	
	ニホンジカ	撮影回数	84	48	59	150	595	233	466	166	114	180	141	211	147	156	146	125	196	53	1635	
		個体数	84	48	59	163	667	237	514	169	138	182	166	231	167	159	154	135	214	57	1772	
カモシカ	撮影回数	1	0	0	1	118	17	11	5	7	30	6	10	27	30	15	12	0	6	148		
	個体数	1	0	0	1	118	17	11	5	7	30	6	10	27	30	15	12	0	6	148		
哺乳類種不明	撮影回数	3	3	2	1	3	3	10	1	1	2	4	0	3	1	4	4	3	2	25		
	個体数	3	3	2	1	3	3	13	1	1	2	4	0	3	1	7	4	3	2	28		
哺乳類合計	撮影回数	110	71	669	233	942	643	548	219	165	300	280	375	283	388	431	297	368	110	3216		
	個体数	110	71	761	282	1061	849	609	229	211	345	340	452	323	461	519	328	420	115	3743		
鳥類	ヤマドリ	撮影回数	2	0	5	0	1	0	0	0	0	4	0	0	1	1	2	0	0	0	8	
		個体数	3	0	17	0	1	0	0	0	0	17	0	0	1	1	2	0	0	0	21	
	アカゲラ	撮影回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		個体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	カケス	撮影回数	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
		個体数	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
	ハシブトガラス	撮影回数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
		個体数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	鳥類合計	撮影回数	2	0	8	0	1	0	0	0	0	4	1	2	1	1	2	0	0	0	11	
		個体数	3	0	20	0	1	0	0	0	0	17	1	2	1	1	2	0	0	0	24	
その他	人	撮影回数	0	8	55	0	77	159	0	12	17	60	17	7	19	33	19	39	49	27	299	
	イヌ	撮影回数	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
	車両	撮影回数	0	0	43	0	0	103	0	10	13	39	6	5	2	1	1	50	13	6	146	
	動物?	撮影回数	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3	

3-2. 越美山地緑の回廊の哺乳類相

(1) 自動撮影調査による確認種

平成22年度より越美山地の7プロットで継続的に実施しているモニタリング調査では、これまで15種（コウモリ類、ネズミ類を各1種として集計）の哺乳類が確認されている（表3-2-1）。生息が予測される大型哺乳類は全て確認されており、中小型哺乳類ではムササビなど一部が確認されていない。

表3-2-1 越美山地緑の回廊モニタリング調査の自動撮影調査により確認された哺乳類

目名	科名	種名	P1				P3				P7				P12				P13				P18				P20			
			22	23	24	26	22	23	24	26	22	23	24	26	22	23	24	26	22	23	24	26	22	23	24	26	22	23	24	26
コウモリ目	—	コウモリ類	●				●	●			●	●			●	●			●	●			●	●			●	●		
サル目	オナガザル科	ニホンザル	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	●	●	●	●					●	●			●	●			●	●			●	●			●	●		
ネズミ目	リス科	ニホンリス	●																											
	ネズミ科	ネズミ類	●				●	●			●	●			●	●			●	●			●	●						
ネコ目	クマ科	ツキノワグマ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	イヌ科	タヌキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		キツネ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	イタチ科	テン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		イタチ					●								●				●				●				●			
	アナグマ	●											●					●							●					
ジャコウネコ科	ハクビシン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ウシ目	イノシシ科	イノシシ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	シカ科	ニホンジカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ウシ科	カモシカ			●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
出現種類数			10	6	6	9	9	7	8	7	10	7	8	8	10	8	8	6	14	11	8	9	13	11	11	8	9	9	8	8

調査年度や地点等を通して、確認頻度の最も高い種はニホンジカである。これまでの調査では、全地点において全調査年度で確認されている。次いで、イノシシ、ニホンザルが全地点で確認され、各地点ほとんどの年度で確認されている。また、ノウサギ、タヌキ、キツネ、テン、カモシカは全地点で確認されているものの、地点によっては確認されない年度が多い。ツキノワグマについてこれまで確認されていないのはP20のみである。P20のスギ林では過去にツキノワグマの皮剥がしがあった地点であるが、通常は利用していないようである。ハクビシンはP12では確認されていないものの他の地点では各年度の調査で確認されている。越美山地では、出現頻度には違いがあっても多数の地点で各哺乳類が確認されており、生息分布の有無よりも生息密度の高低によって出現する種類が変動する傾向がうかがえる。

また、確認が少ない種としては、ニホンリスやネズミ類、イタチ、アナグマの4種類が挙げられる。ネズミ類は森林の林床に普通に生息する種であるが、体が小さいためか、自動撮影ではあまり確認されない。またイタチは里山の水辺では普通にみられるものの、山地の森林の調査では比較的確認が少ない。

(2) 確認状況の経年変化

①ニホンザル

本年度調査では川上国有林での出現は僅かで、大河原国有林と越波国有林で多く確認されたが、この傾向は過年度調査と同様であった（図3-2-1）。大河原、越波国有林のP7～P20の撮影頻度も概ね過年度調査と同様であり、特に明確な増減はなかった。

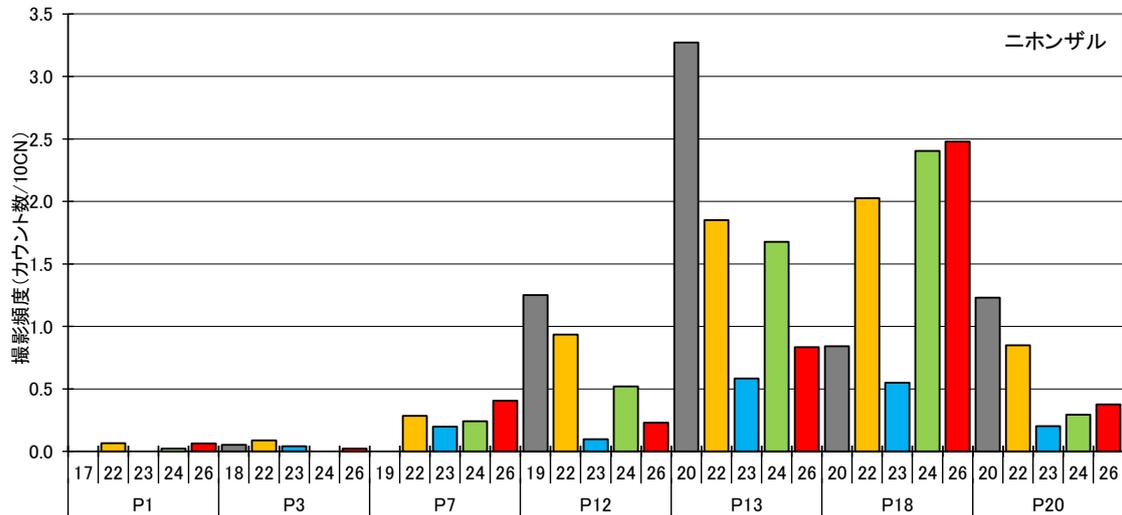


図3-2-1 ニホンザルの出現状況の経年比較

②ノウサギ

ノウサギは平成22年度調査で多くの地点で高頻度に確認されたが、それ以降の調査では多くの地点で確認されているものの撮影頻度は極端に低い（図3-2-2）。本年度の調査結果も平成23年度以降と同様の結果である。なお、平成20年度以前の調査の値は撮影回数を用いた値であるが、0.5回/CN前後のやや高い値を示している。このため平成23年以降に当該地域全体にノウサギの生息数が減少した可能性が推察される。

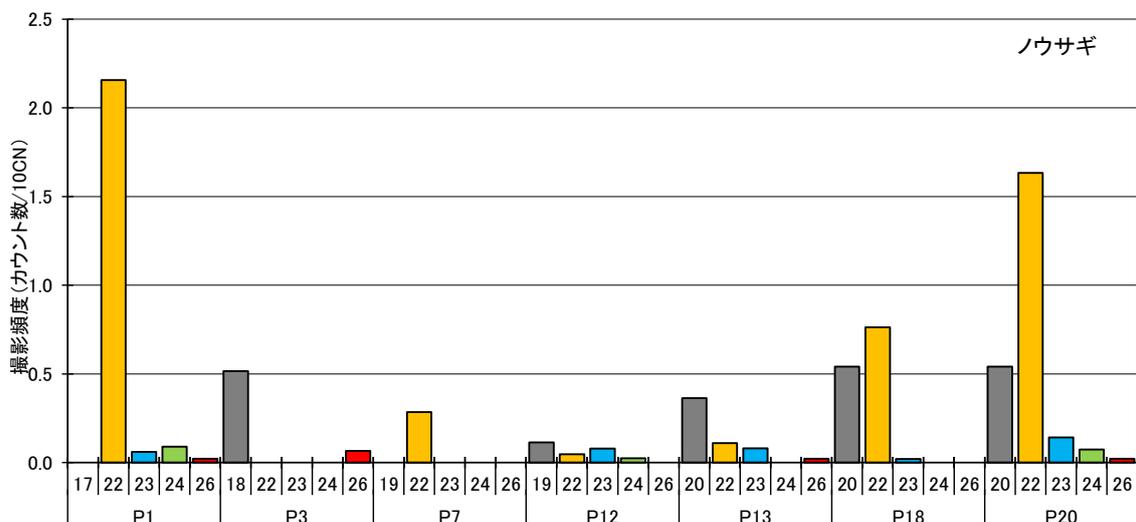


図3-2-2 ノウサギの出現状況の経年比較

⑤ ツキノワグマ

P20を除く6地点で確認されている。撮影頻度は川上国有林のP1、P3で低く、P12～P18でやや高い（図3-2-5）。特に本年度はP13で0.5回/10CNと高い値を示した。経年的に地点ごとの出現傾向は概ね同様と思われるが、平成22年度から本年度までの4回の調査で毎年確認された地点はなく、調査地付近の生息は流動的である。

また本年度はブナやナラ類が凶作で、当該地域全域で里山への出没が増加したが、調査地点では、P13を除くと、撮影頻度の顕著な増加や出現地点の顕著な増加はなかった。

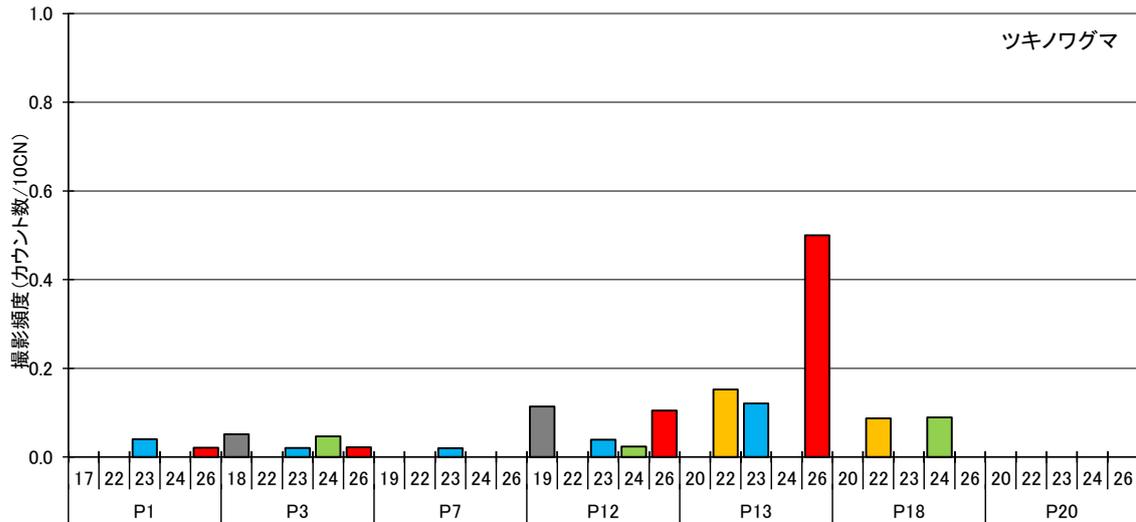


図3-2-5 ツキノワグマの出現状況の経年比較

⑥ タヌキ

全7地点で確認されている（図3-2-6）。平成22年度と24年度調査では、越波国有林のP13、P18、P20で比較的多く確認されている。本年度調査においてもP13～P20で確認されたが、他の調査地点と大きな差はなかった。

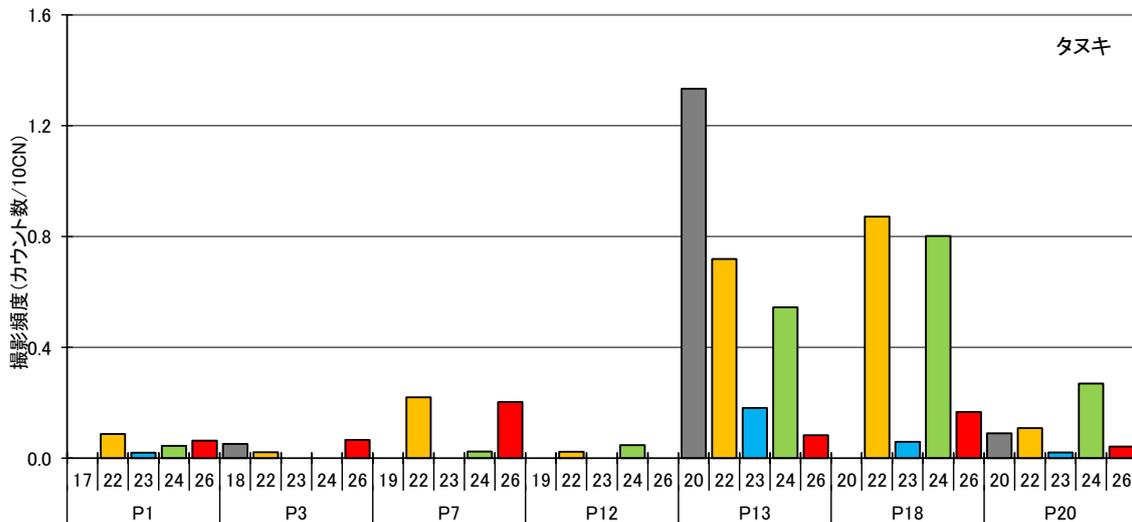


図3-2-6 タヌキの出現状況の経年比較

⑪ハクビシン

平成22～24年度の間は毎年度5～6地点で確認されたが、本年度は4地点で地点数が減少するとともに、各地点の撮影頻度も低かった（図3-2-11）。

地点別にみると、越波国有林のP13からP20で頻度高く確認されることがあり、P1、P3、P7の撮影頻度は低い。またP12は全く確認されていない。

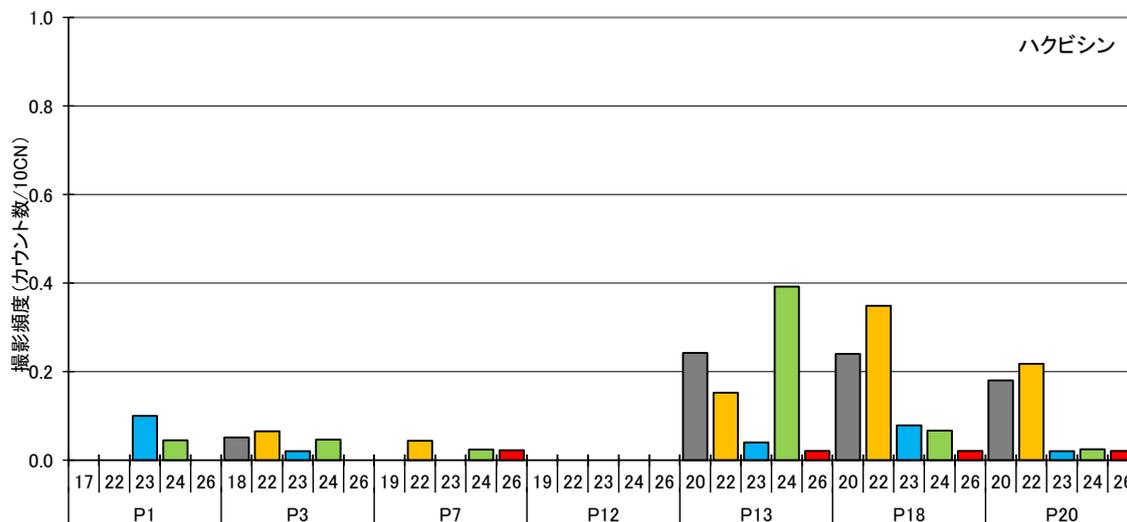


図3-2-11 ハクビシンの出現状況の経年比較

⑫イノシシ

全7地点で確認されている。川上国有林では頻度が低く、大河原国有林と越波国有林の5地点でやや撮影頻度が高い（図3-2-12）。特に本年度調査では、各地点の撮影頻度が著しく高くなっており、生息数の増加が懸念される。

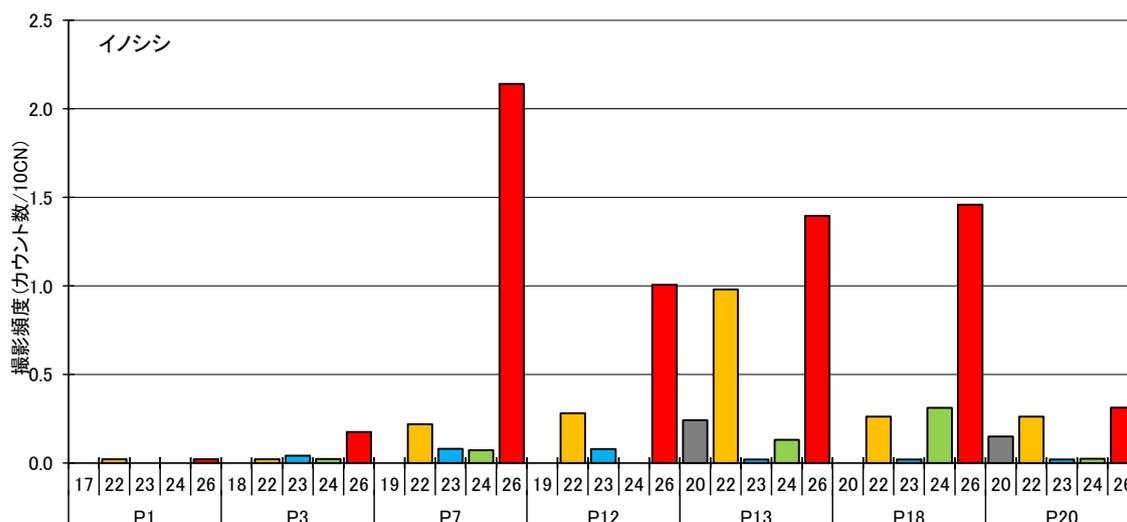


図3-2-12 イノシシの出現状況の経年比較

⑬ニホンジカ

平成22年度以降の調査では、全7地点で全年度確認されている（図3-2-13）。撮影頻度はP1、P3、P7でやや低く、P12、P13、P18及びP26で顕著に高い。特に本年度調査では、全地点でこれまでで最も高い値となっており、ニホンジカの急増が非常に懸念される。

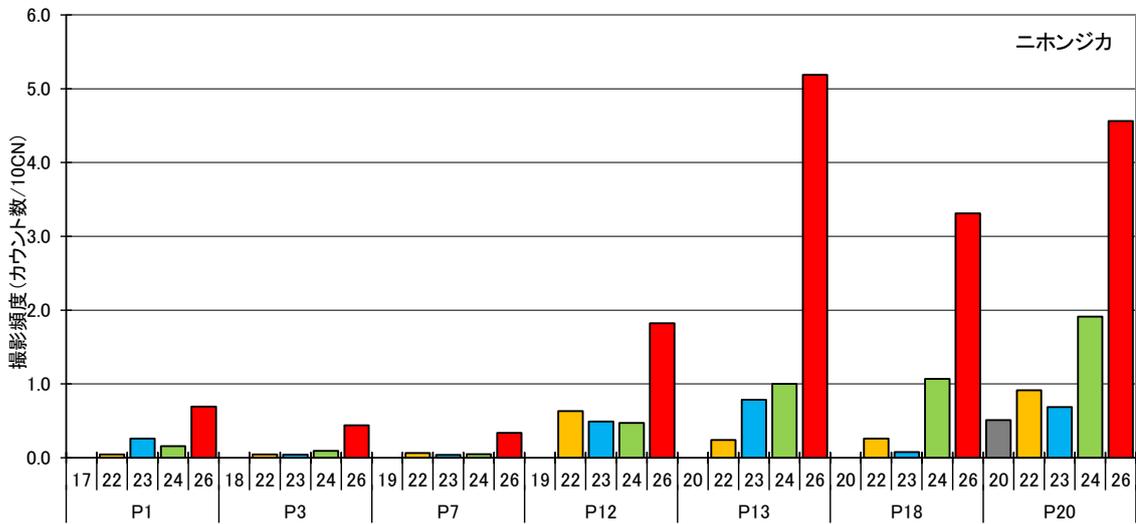


図3-2-13 ニホンジカの出現状況の経年比較

⑭カモシカ

カモシカは、全7地点で確認されているが、P1、P3及びP7で撮影される頻度は非常に少ない（図3-2-14）。本年度では、P13で非常に高頻度に撮影されたほか、P18やP20でもやや高い頻度であった。

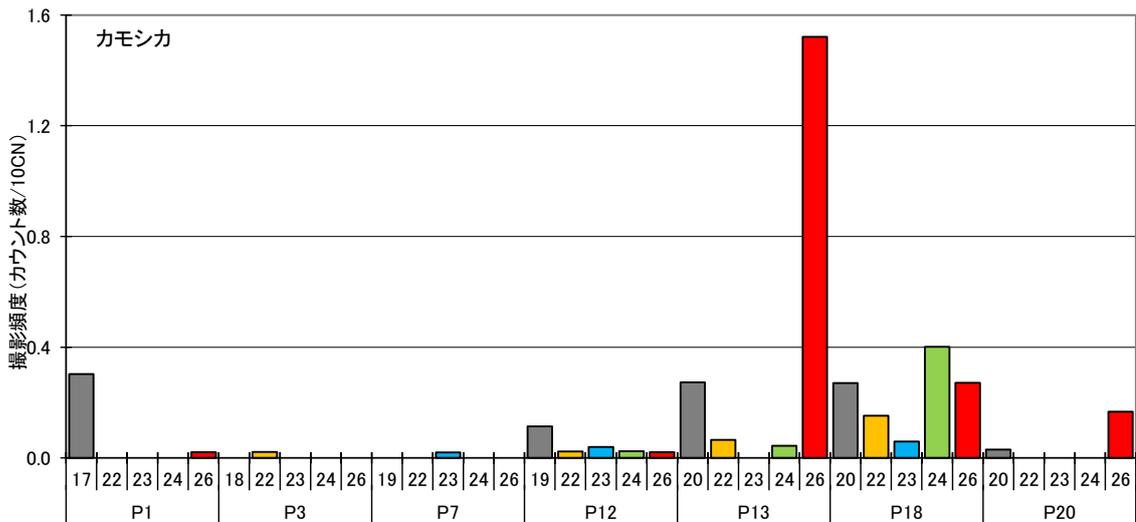


図3-2-14 カモシカの出現状況の経年比較

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2)日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供
具体の施策	ぎふ田んぼの学校
団体名等	岐阜県揖斐農林事務所 農地整備課
実施時期	平成26年6月23日～平成26年7月4日
内 容	<p>揖斐川町の小学校及(1)び大野町の小学校(1)の2校において、総合学習の時間を利用し、農村資源に生息する生き物調査(体験活動)及び環境学習を実施した。</p> <p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生き物調査 <ul style="list-style-type: none"> ・生き物調査 ・水質調査(パックテスト) ○環境学習 <ul style="list-style-type: none"> ・生き物調査結果の考察 ○参加児童数 50名
写 真	

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(1) 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全
施策項目	②ダム機能保全のための森林の保全整備
具体の施策	コア山の早期樹林化について検討するためカラマツを試験植栽する
団体名等	岐阜県農政部揖斐農林事務所
実施時期	H26年5月～9月
内 容	<p>森林整備(カラマツ植栽)A=0.2ha 観光資源として位置付けられている徳山ダム及びびダム湖の景観保全のため、コア山の早期樹林化を目的としてカラマツの試験植栽を実施した。</p>
写 真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center; width: 45%;"> <p>下刈完了</p>  </div> <div style="text-align: center; width: 45%;"> <p>植栽状況</p>  </div> <div style="text-align: center; width: 45%;"> <p>カラマツポット苗</p>  </div> <div style="text-align: center; width: 45%;"> <p>苗木</p>  </div> </div>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供
具体の施策	緑と水の子ども会議
団体名等	岐阜県揖斐農林事務所 林業課
実施時期	平成26年4月16日～平成27年2月6日
内 容	<p>揖斐川町の8小学校、3中学校、池田町の1小学校、県立揖斐特別支援学校中学部において、総合学習等の時間を利用し森林、林業、水環境に関する学習や体験活動を実施した。</p> <p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 苗木のホームステイ活動 カワゲラウォッチングによる河川環境調査 森林の働きや水との関係など、森林に関する授業 ネイチャーゲーム、自然観察会 間伐作業の体験 マイはしづくりや木エクラフト(木の実クラフト)づくり 徳山ダムの見学 炭焼き体験 <p>実施回数 37回 参加児童・生徒数 532名</p>
写 真	   

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2)日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供
具体の施策	ぎふ田んぼの学校
団体名等	岐阜県揖斐農林事務所 農地整備課
実施時期	平成27年6月19日～平成27年7月9日
内 容	<p>揖斐川町の小学校(1)、幼稚園(1)、大野町の小学校(1)の3施設において、総合学習等の時間を利用し、農村資源に生息する生き物調査(体験活動)及び環境学習を実施した。</p> <p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生き物調査 <ul style="list-style-type: none"> ・生き物生息調査 ・水質調査(パックテスト) ○環境学習 <ul style="list-style-type: none"> ・生き物調査結果の考察 ・生き物観察会(幼稚園) <p>○参加児童数 105名</p>
写 真	   

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(1) 日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全
施策項目	②ダム機能保全のための森林の保全整備
具体の施策	コア山の早期樹林化について検討するためカラマツを試験植栽する
団体名等	岐阜県農政部揖斐農林事務所
実施時期	H27年6月～9月
内 容	森林整備(カラマツ植栽)A=0.26ha 観光資源として位置付けられている徳山ダム及びダム湖の景観保全のため、コア山の早期樹林化を目的としてカラマツの試験植栽を実施する。(平成27年10月13日完成検査済み)
写 真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>下刈完了</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>植栽状況</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>カラマツポット苗</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>客土</p>  </div> </div>

※写真は揖斐郡森林組合撮影

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供
具体の施策	緑と水の子ども会議の実施
団体名等	岐阜県揖斐農林事務所 林業課
実施時期	平成27年4月～平成28年2月
内 容	<p>揖斐川町の8小学校、3中学校、池田町の2小学校、県立揖斐特別支援学校中学部において、総合学習等の時間を利用し森林、林業、水環境に関する学習や体験活動を実施する予定。</p> <p>(実施内容)</p> <p>実のなる木の苗木を育て山に植える。 カワゲラウォッチングによる河川環境調査 森林の働きや水との関係など、森林に関する授業 ネイチャーゲームや自然観察会 間伐作業の体験 マイはし、マイスプーンづくりや木の実を使った木工クラフト 徳山ダムの見学 炭焼き体験</p> <p>上半期に17回(参加児童生徒数 226名)実施済み。 下半期に27回実施予定。</p>
写 真	   

活動報告〔中部電力〕

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

施策	(2)日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供
具体の施策	ダムや水力発電所の役割や機能を紹介し、理解を深めていただく。
団体名等	中部電力株式会社
実施時期	平成26年8月2日(土)
内 容	<p>[具体的内容]</p> <p>○夏休み特別教室『ダム探検と水力発電』 【実施場所】西平土木管理所 【参加人数】揖斐川町内の児童およびその家族 児童14名 ご家族18名 計32名 【見学箇所】・西平ダム(監査廊含む) ・西平発電所 ・西平土木管理所制御室</p> <p>○H27年度は、教育委員会からの要請がなく実績なし。</p>
写 真	<p>○平成26年度 夏休み特別教室の様子</p>    

活動報告〔中部電力〕

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

施策	(4) 水源地域の魅力を活用した産業の振興
施策項目	① 観光振興
具体の施策	いびがわマラソンの運営協力
団体名等	中部電力株式会社
実施時期	平成26年11月9日(日)
内 容	<p>[具体的内容]</p> <p>○いびがわマラソン 【実施内容】・当日の給水係員協力、給水所用地および飲料水の無償提供 ・大会終了後の当該箇所付近の清掃活動 【参加人数】・当日の給水係 4人 ・大会終了後の清掃活動15人</p> <p>○平成27年度 【実施内容】前年度に同じ 【活動予定】平成27年11月8日(日)実施 【参加人数】・当日の給水係 5人 ・大会終了後の清掃活動10人</p>
写 真	<p>○平成27年度 いびがわマラソン 給水係員</p>  <p>○平成27年度 いびがわマラソン 清掃活動</p> 

活動報告〔中部電力〕

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

施策	(5)みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進
施策項目	⑮啓発活動の推進(水難事故防止PR活動)
具体の施策	揖斐川筋の漁協・小学校・教育委員会に対して水難事故防止PR活動を実施。 また、河川入川者に対する注意喚起として水難事故防止PRのぼり旗を設置。
団体名等	中部電力株式会社
実施時期	平成26年6月
内 容	<p>[具体的内容]</p> <p>〈漁業組合〉 揖斐川上流部3漁組に対し水難事故防止PRと水難事故防止PRポケットティッシュを配布 (揖斐川上流・久瀬・揖斐川中部漁組)</p> <p>〈小学校〉 揖斐川町の流域小学校7校(谷汲・春日・小島・清水・揖斐・大和・北方小学校)に対し 水力発電所の働きを紹介すると共に、水難事故防止PRおよび水難事故防止PR文具を配布 (文具は小学校1年生を対象に配布)</p> <p>〈教育委員会〉 流域教育委員会(揖斐川町、大野町、池田町、神戸町)に対し水難事故防止PR を実施</p> <p>〈のぼり旗設置〉 河川付近へのぼりを設置(西平ダム下流他12ヶ所)</p> <p>○平成27年度 【実施内容】前年度に同じ 【活 動】平成27年6月実施</p>
写 真	 

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(2) 日本一の水と森に学び、やすらぐ場としての活用
施策項目	⑤学習の場の提供
具体の施策	間伐による水源林保全体験
団体名等	名古屋市上下水道局
実施時期	平成26年8月22日
内 容	<p>【木曾三川水源林保全体験】</p> <p>■目的 名古屋市上下水道局の給水区域内の小学生(4~6年生)を対象に、名古屋市の水源施設である徳山ダム周辺の山林(水源林)での間伐作業体験等や、徳山ダムの見学を通して、水源林の大切さや森林整備の重要性を学ぶ機会を提供します。</p> <p>■行程 8:45名古屋市役所発 11:25~13:50間伐作業体験 14:00~15:00徳山ダム見学 17:30名古屋市役所着</p> <p>■参加人数 16組32名</p> <p>■27年度 8月21日(金)に実施しました。 ※雨天のため木エクササイズ体験を実施。</p> <p>※実施におきましては、生命の水と森の活動センター、揖斐郡森林組合、(公社)木曾三川水源造成公社、(独)水資源機構徳山ダム管理所にご協力いただいています。</p>
写 真	   

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(4) 水源地域の魅力を活用した産業の振興
施策項目	⑫新たな産業の振興
具体の施策	地域資源の活用による、交流産業の創出・育成
団体名等	大垣商工会議所 交流産業委員会
実施時期	平成26年10月17日(金)・18日(土)
内 容	<p>全国の各都市が取り組む水辺のまちづくり方を学びあい、「水都」の魅力を高め広く発信することにより、日本の「水都」ブランドの向上を図ることを目的に活動する「全国水都ネットワークフォーラム」を開催し、併せて交流会及び視察見学会を実施した。基調講演・パネルディスカッションに160人、交流会に40人、視察見学会に13人が参加。たらい舟や自噴水など、大垣の魅力をアピールするとともに、同ネットワークに加盟する大阪、松江、柳川など他都市との交流を図った。</p> <p>a. 開催年月日 平成26年10月17日(金) b. 場 所 大垣市総合福祉会館 c. 参加者数 160名 d. 内 容 (1)基調講演 講 師:国土交通省水管理・国土保全局 藤井政人氏 テーマ:水辺の未来～日本にワクワクする未来をつくりだす (2)パネルディスカッション コーディネーター :岐阜経済大学 副学長 竹内治彦氏 パネラー :国土交通省水管理・国土保全局 藤井政人氏 :柳川商工会議所地域振興課経営指導員 與田武文氏 :大阪シティクルーズ推進協議会事務局長 大江幸路氏 :大垣観光協会副会長 堀 富士夫氏 テーマ:水辺で生み出すビジネスの未来 ～水辺の活用可能性についての意見交換～</p>
写 真	 <p style="text-align: center;">全国水都ネットワークフォーラム in 大垣の様子</p>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(4) 水源地域の魅力を活用した産業の振興
施策項目	⑫新たな産業の振興
具体の施策	地域資源の活用による、交流産業の創出・育成
団体名等	大垣商工会議所 情報サービス部会
実施時期	平成26年6月19日(金)
内 容	<p>発電所の視察を通じて、今日の水資源の活用について学ぶとともに、西濃地域の産業発展の歴史を知る機会として、中部電力(株)徳山水力発電所及びイビデン(株)東横山発電所の視察見学会を開催した。</p> <p>a. 開催年月日 平成26年6月19日(金) b. 参加者数 16名 c. 視 察 先 中部電力(株) 徳山水力発電所、イビデン(株) 東横山発電所</p>
写 真	 <p>中部電力(株) 徳山水力発電所の視察の様子</p>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(4) 水源地域の魅力を活用した産業の振興
施策項目	⑫新たな産業の振興
具体の施策	地域資源の活用による、交流産業の創出・育成
団体名等	大垣商工会議所 交流産業委員会
実施時期	平成27年4月1日～平成28年3月31日
内 容	<p>交流産業の創出・育成に向け、奥の細道むすびの地、水都などの地域資源を活用しながら諸事業を実施する。</p> <p>①「西美濃産業観光読本」(改訂版)の作成 ・揖斐川の水資源を活かした産業(徳山ダム水力発電所等)に関する内容を追加予定</p> <p>②全国水都ネットワーク会議への参加 ・全国水都ネットワークは、国内各都市が連携して、水辺の魅力づくりに関する情報収集、情報交換、共同発信などを行い、日本の“水都”ブランド向上をめざすため、大阪商工会議所が呼びかけ、平成 24年 12 月に設立したもの。大阪はじめ全国の“水都”10都市(大阪、東京、新潟、名古屋、大垣、近江八幡、徳島、広島、松江、柳川)が参画</p>
写 真	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>大垣と西美濃のものづくりを語る旅 岐阜県 大垣市</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>「西美濃産業観光読本」</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>大垣八幡神社・大垣の湧水</p> </div>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動報告について(平成26年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(4)水源地域の魅力を活用した産業の振興
施策項目	①観光振興
具体の施策	西美濃地域が持つ豊かな自然と多くの優れた観光資源をPRすることにより、圏域の観光振興と地域活性化を図る。
団体名等	西美濃広域観光推進協議会
実施時期	平成26年4月～平成27年3月
内容	<p>(1)観光客誘致促進キャンペーン事業の開催 ①大阪府豊中市でぎふ西美濃さわやか観光キャンペーンを実施(平成26年9月20日～21日) (来場者数 約15,000人、売上 933,140円)。 ②イオンモール東員で西美濃・北伊勢フェアへの出展し、特産品販売及び観光PRを実施(平成27年2月20日～22日) (来場者数 54,243人、売上 1,415,589円)</p> <p>(2)ぐるっと西美濃スタンプラリーの実施(平成26年4月～平成27年3月) 西美濃における回遊性を誘発するため、各市町の「花」「水」「歴史」「食」をテーマに関連するスポットを紹介し、観光施設を巡ると記念品が当たるスタンプラリーをNEXCO中日本と連携し、実施。 (踏破賞人数 花と食:205人、水と食:踏破賞 217人、歴史と食:149人)</p> <p>(3)ぐるっと西美濃ツアー造成事業の実施(平成26年7月～9月) 西美濃地域への誘客促進を図るため、市町の観光資源を組み入れたバスツアーの造成に向けて旅行会社に働きかけ、ツアーを共同で実施(実績 19日間実施、764人送客)。</p> <p>(4)ビジット西美濃観光キャンペーン台湾旅行社招聘事業の開催(平成26年4月12日～16日) 海外からの誘客促進を図るため、訪日旅行商品の造成・販売に向けて台湾旅行社関係者を招聘し、西美濃圏域の観光スポットを巡るモニターツアーを実施(招聘者 台湾旅行社関係者 5社、7人)。</p> <p>(5)台湾観光PR事業の開催(平成26年8月31日～9月4日) 台湾(台北、台中、高雄)で開催する「2014トラビズジャパン日本花旅遊 台湾旅行社商談会」への参加。</p>
写真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>(1)①ぎふ西美濃さわやか観光キャンペーン(特産品販)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>(1)②西美濃・北伊勢フェア(観光PR)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>(2)ぐるっと西美濃スタンプラリー(台紙)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>(3)ぐるっと西美濃ツアー造成事業(たらい舟)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>(4)台湾旅行社招聘(観光視察)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>(5)台湾旅行社招聘(商談)</p> </div> </div>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会委員が所属する関係団体等の活動計画について(平成27年度)

※(別紙)の施策及び施策項目より選択して頂き記載をお願いいたします。

施策	(4) 水源地域の魅力を活用した産業の振興
施策項目	① 観光振興
具体の施策	西美濃地域が持つ豊かな自然と多くの優れた観光資源をPRすることにより、圏域の観光振興と地域活性化を図る。
団体名等	西美濃広域観光推進協議会
実施時期	平成27年4月～平成28年3月
内 容	<p>(1) 観光客誘致促進キャンペーン事業の開催</p> <p>① 「2015“よい仕事おこし”フェア」への出展(平成27年9月8日～9日) 東京国際フォーラムで西美濃地域における特産品販売、観光PR及び商談会を実施予定。</p> <p>② 「ツーリズムEXPOジャパン2015」への出展(平成27年9月24日～27日) 東京ビックサイトで西美濃地域における観光PRを実施予定。</p> <p>③ 岐阜県観光物産展inセントレアへの出展(平成27年10月29日～11月3日) 中部国際空港で西美濃地域における特産品販売及び観光PRを実施予定。</p> <p>④ 「岐阜県更生保護事業関係者顕彰式典」における西美濃物産展の開催(平成27年11月17日) 大垣市民会館で西美濃地域における特産品販売及び観光PRを実施予定。</p> <p>⑤ 第13回「き」業展への出展(平成28年1月29日～30日) セラミックパークMINO展示ホールで西美濃地域における特産品販売及び観光PRを実施予定。</p> <p>(2) 西美濃スタンプラリー事業の実施(平成27年4月～平成28年3月) 西美濃における回遊性を誘発するため、各市町の春、秋の「花」「食」をテーマに関連するスポットを紹介し、観光施設を巡ると記念品が当たるスタンプラリーをNEXCO中日本と連携し、実施予定。</p> <p>(3) ツアー事業の実施(平成27年7月～9月) 西美濃地域への誘客促進を図るため、市町の観光資源を組み入れたバスツアーの造成に向けて旅行会社に働きかけ、ツアーを共同で実施予定。</p> <p>(4) JR東海ぎふ西美濃桜めぐりの旅の開催(平成28年3月) 東海旅客鉄道(株)、名阪近鉄旅行(株)と連携し、春の西美濃を巡るツアーを実施予定。</p> <p>(5) 2015日本観光物産博覧会への出展及び旅行社訪問の実施(平成27年6月25日～29日) 台湾台北駅で日本観光物産博覧会へ出展し、観光PR及び商談会の実施、また、現地旅行社を訪問予定。</p> <p>(6) 国内・海外観光プロモーション事業の実施(平成27年11月～平成28年3月) 西美濃の魅力ある観光資源を国内外に発信し、観光客の更なる増加を目指すことを目的に実施予定。</p>
写 真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(1) ① 「2015“よい仕事おこし”フェア」(特産品販売)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(1) ② ツーリズムEXPOジャパン(観光PRステージ)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>(2) 西美濃スタンプラリー(台紙)</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>(5) 2015日本観光物産博覧会(観光PR)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(3) ツアー事業(販促チラシ)</p> </div> </div>

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 規約

(名称)

第1条 本会は、「揖斐川水源地域ビジョン推進協議会」（以下「協議会」という）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、揖斐川水源地域ビジョンに基づき、徳山ダム上流域を核とする揖斐川水源地域を流域全体の貴重な財産と位置づけ、水源地域だけではなく、治水・利水の恩恵が及ぶ広域の人達が参画し、揖斐川水源地域の豊かな自然環境を保全するとともに、適切なダム管理との整合を図りながら、広大な自然環境、地域の伝統文化、多様な観光資源等の積極的な利活用を図るため、流域住民、NPO法人や企業等の各種団体、関係行政機関、水源地域自治体、ダム事業者等が一体となって、個々の役割を果たすとともに、相互の連携・協力の下、ビジョンの着実な推進を図り、もって水源地域の自立的、持続的な活性化に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 協議会は、以下の項目について実施するものとする。

- (1) ビジョンに位置付けた施策の実施状況の確認
- (2) 着実かつ効率的なビジョン推進のための協議・調整
- (3) 生命の水と森の活動センター協議会の事業内容に関する確認や助言・指導及び活動協力
- (4) その他目的を達成するために必要な事項

(組織等)

第4条 協議会は、別表に掲げる委員をもって構成する。但し、協議会の中で了解を得たうえで、運営上必要な委員の増減を図ることができる。

- 2 組織の改編等により委員の組織及び職名等が変更となった場合は、組織及び職名等を新たな組織及び職名等に読み替え、その職に就いた者が、協議会の委員を継承する。

(協議会の招集及び成立)

第5条 協議会は、事務局がこれを招集し、揖斐川町長が議長を務める。

2 協議会は、委員の過半数の出席を持って成立する。

3 委員がやむを得ない事由により会議に出席できないときは、代理人を出席させることができる。

(協議会の開催)

第6条 協議会は、原則として年1回開催する。その他、必要に応じて適宜開催することができる。

(公開)

第7条 協議会は、原則として公開とする。

2 ただし、議長が必要と認めた場合には非公開とすることができる。

(事務局)

第8条 協議会の事務局は、揖斐川町に置くこととし、事務局の運営に関し必要な事項については、独立行政法人 水資源機構 徳山ダム管理所が協力して実施するものとする。

(雑則)

第9条 本規約に定めのない事項については、協議会において別途定める。

付則

この規約は、平成20年2月13日から施行する。

付則

別表の委員について、「命の水と森の活動センター協議会 センター長」を追加する。

この規約は、平成27年 月 日から施行する。

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 委員一覧

分 類	区 分	所 属 ・ 役 職
各種団体	関連地元事業者	揖斐郡森林組合 組合長
		一般財団法人 いびがわ 理事長
	関連団体	生命の水と森の活動センター協議会 センター長
		NPO 揖斐自然環境レンジャー 理事長
		西美濃広域観光推進協議会 事務局長
		大垣商工会議所 交流産業委員長
		揖斐川町商工会 事務局長
	関連企業	中部電力（株） 岐阜電力センター所長
		イビデン（株） エネルギー統括部 部長
	関係行政機関	国土交通省
中部地方整備局 木曽川上流河川事務所長		
中部地方整備局 木曽川上流河川事務所 横山ダム管理支所長		
林野庁		中部森林管理局 岐阜森林管理署 次長
関係地方公共団体		岐阜県 都市建築部 次長 兼 水資源課長
		岐阜県 揖斐県事務所長
		岐阜県 県土整備部 揖斐土木事務所長
		岐阜県 農政部 揖斐農林事務所長
		愛知県 振興部 土地水資源課長
		三重県 地域連携部 水資源・地域プロジェクト課長
		名古屋市上下水道局 技術本部 計画部 水道計画課 主幹
流域市町代表		大垣市 技監
水源地域自治体		揖斐川町長
ダム事業者	水資源機構 中部支社 事業部 ダム事業課長	
	水資源機構 徳山ダム管理所長	

平成27年11月26日現在